

令和 8（2026）年度
栃木県政世論調査
調査結果（速報）

令和 8（2026）年10月
栃 木 県

目 次

I	調査の概要	1
II	調査の結果	2
1	暮らしの変化について	
(1)	暮らしの変化	2
(2)	暮らしが悪くなった理由	3
(3)	暮らしの満足度	4
(4)	今後の暮らしの状況	5
(5)	今後の暮らしで力を入れる点	6
2	県政への要望について	
(1)	県政への要望	8
3	日常生活について	
(1)	文化・芸術活動について	11
(2)	スポーツ活動について	12
(3)	社会貢献活動について	13
4	防災対策について	
(1)	災害に対する備え	14
5	栃木県への愛着と誇りについて	
(1)	栃木県に対する愛着	15
(2)	栃木県の魅力あるものとして自慢できるもの	16
6	男女平等意識について	
(1)	社会全体の中での男女の地位の平等感	18
(2)	固定的な性別役割分担意識	19
(3)	働く場での男女の地位の平等感	20
7	あらゆる人々が活躍できる環境づくりについて	
(1)	あらゆる人々が共に活躍できる社会となっていることへの意識	21
(2)	あらゆる人々が活躍できる環境づくりに向けて 力を入れた方がよいと考える取組	22
8	消費生活に関する意識について	
(1)	消費者トラブルへの遭遇	23
9	生涯学習について	
(1)	直近1年間に行った生涯学習の種類	24
(2)	生涯学習を行った理由	26
10	地域のつながりについて	
(1)	ご近所との関係	27
(2)	家族・親族以外で相談できるところ・人	28

目 次

11 ケアラーについて

- (1) ケアラーという言葉の認知度 29
- (2) ケアラー当事者になる可能性 30

12 在宅医療について

- (1) 地域における希望する医療環境の整備の実感 31
- (2) 人生会議（ACP）の認知度 32

13 がん対策について

- (1) がんについての認知度 33
- (2) がん検診を受診しない理由 34
- (3) がん治療と仕事の両立 35

14 食の安全・安心について

- (1) 食品の安全性に対する不安感 36
- (2) 食品の安全性について不安に思うもの 37

15 食に関する意識と実践について

- (1) 産地や生産者を意識した食品等を選ぶか 39
- (2) 農業体験をした経験 40

16 食品ロスの削減について

- (1) 食品ロス問題の認知度 41
- (2) 現在行っている食品ロスを発生させない取組 42

17 とちぎの元気な森づくり県民税について

- (1) 重要だと思う森林の持つ働き 44
- (2) 「とちぎの元気な森づくり県民税」で重要と思う取組 45

18 公共交通について

- (1) 公共交通の利用状況 46
- (2) 公共交通に関する満足度 47
- (3) 公共交通に不満を感じる事 48

19 自転車利用率と目的について

- (1) 自転車の利用状況 49
- (2) 自転車利用の目的 50

20 犯罪と治安対策について

- (1) 県内の治安状況の変化 51
- (2) 不安を感じる犯罪 52
- (3) 交通事故を抑止するための対策 54

I 調査の概要

1 調査目的

この調査は、現在あるいは今後解決すべき課題について、県民の県政に対する意識・要望などを的確に把握し、県政施策の企画・立案及び県政執行上の参考とすることを目的とする。

2 調査項目

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| (1) 暮らしの変化について＊ | (11) ケアラーについて |
| (2) 県政への要望について＊ | (12) 在宅医療について |
| (3) 日常生活について＊ | (13) がん対策について |
| (4) 防災対策について | (14) 食の安全・安心について |
| (5) 栃木県への愛着と誇りにについて | (15) 食に関する意識と実践について |
| (6) 男女平等意識について | (16) 食品ロスの削減について |
| (7) あらゆる人々が活躍できる環境づくりについて※ | (17) とちぎの元気な森づくり県民税について |
| (8) 消費生活に関する意識について | (18) 公共交通について |
| (9) 生涯学習について | (19) 自転車利用率と目的について |
| (10) 地域のつながりにについて | (20) 犯罪と治安対策について |

(＊印は時系列調査、※印は新規調査)

3 調査設計

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| (1) 調査地域 | 栃木県全域 |
| (2) 調査対象 | 満18歳以上の男女個人 |
| (3) 標 本 数 | 2,000 |
| (4) 抽出方法 | 層化二段無作為抽出法 |
| (5) 調査方法 | 郵送法（郵送配布－郵送回収又はインターネット回収の選択式） |
| (6) 調査時期 | 令和8（2026）年5月29日～6月30日 |

4 調査機関

株式会社タイム・エージェント

5 回収結果

回収数（率） 1,528（76.4％）

6 報告書の見方

- (1) 各調査項目について、全体の結果及び過去の調査結果との比較（一部項目のみ）を掲載した。
- (2) 比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が100.0％にならないことがある。
- (3) 基数となるべき実数はnとして掲載した。その比率は件数を100％として算出した。
- (4) 1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100％を上回ることがある。
- (5) 図表・本文では、スペースの都合等により回答選択肢を省略して表記している場合がある。

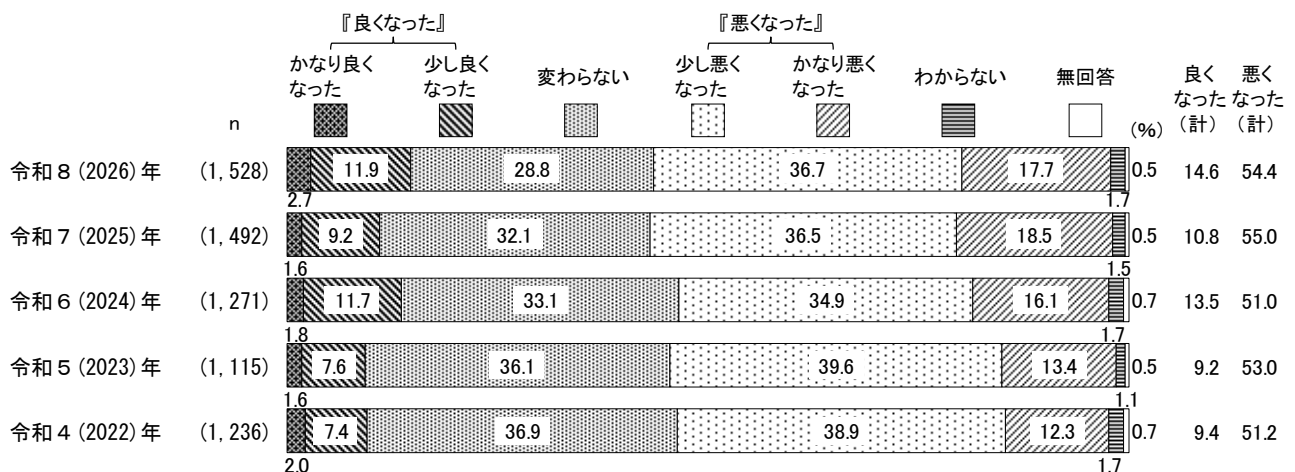
Ⅱ 調査の結果

1 暮らしの変化について

(1) 暮らしの変化

問1 あなたの暮らしは、この5～6年の間にどう変わりましたか。次の中から1つ選んでください。
[n=1,528]

		令和 7 年(2025年)		令和 8 年 (2026年)		令和 7 年との差	
1	かなり良くなった	1.6%	10.8%	2.7%	14.6%	1.1 ↑	3.8 ↑
2	少し良くなった	9.2%		11.9%		2.7 ↑	
3	変わらない	32.1%		28.8%		3.3 ↓	
4	少し悪くなった	36.5%	55.0%	36.7%	54.4%	0.2 ↑	0.6 ↓
5	かなり悪くなった	18.5%		17.7%		0.8 ↓	
6	わからない	1.5%		1.7%		0.2 ↑	



全体でみると、「かなり良くなった」(2.7%)と「少し良くなった」(11.9%)の2つを合わせた『良くなった』(14.6%)が1割台半ば近くとなっている。一方、「少し悪くなった」(36.7%)と「かなり悪くなった」(17.7%)の2つを合わせた『悪くなった』(54.4%)が5割台半ば近くとなっている。また、「変わらない」(28.8%)が3割近くとなっている。

【過去調査との比較】

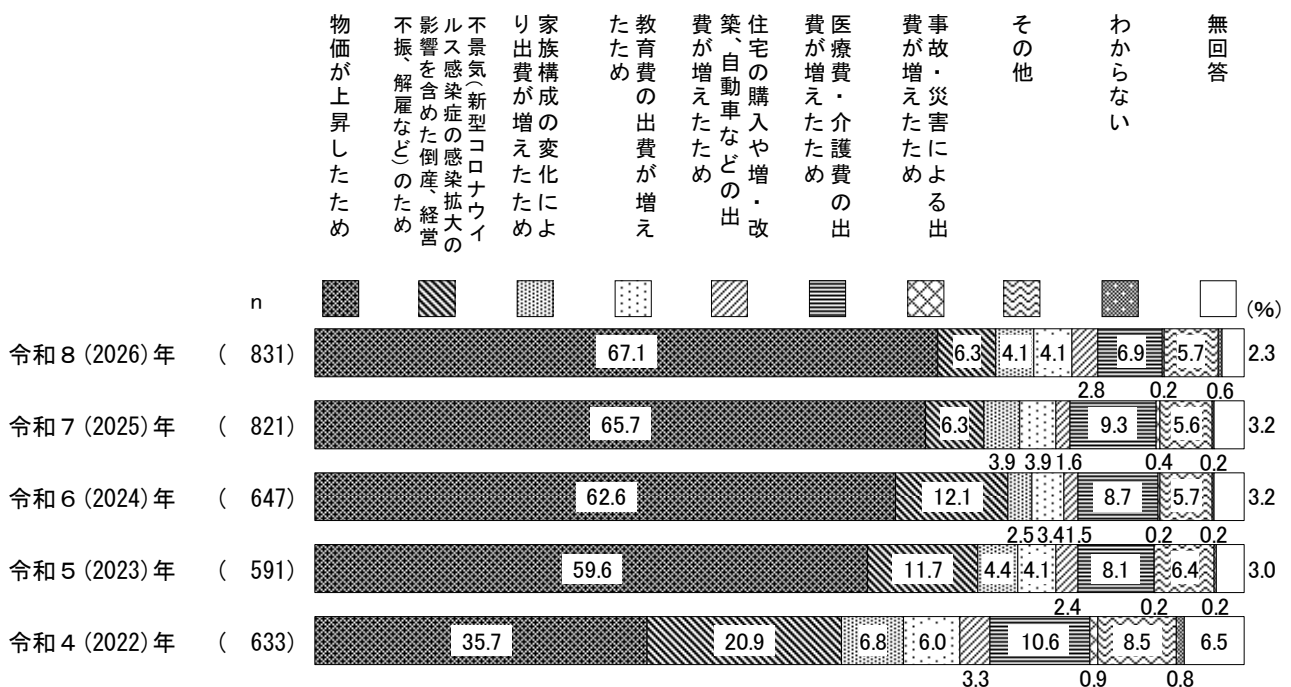
前回(令和7(2025)年)の調査結果と比較すると、『良くなった』が3.8ポイント増加している。

(2) 暮らしが悪くなった理由

(問1で選択肢「4」、「5」を選んだ方のみお答えください)

問2 悪くなったのは、主にどのようなことからですか。もっとも大きな要因を1つ選んでください。
[n=831]

	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和7年 との差
1 物価が上昇したため	65.7%	67.1%	1.4 ↑
2 不景気（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を含めた倒産、経営不振、解雇など）のため	6.3%	6.3%	0.0 →
3 家族構成の変化により出費が増えたため	3.9%	4.1%	0.2 ↑
4 教育費の出費が増えたため	3.9%	4.1%	0.2 ↑
5 住宅の購入や増・改築、自動車などの出費が増えたため	1.6%	2.8%	1.2 ↑
6 医療費・介護費の出費が増えたため	9.3%	6.9%	2.4 ↓
7 事故・災害による出費が増えたため	0.4%	0.2%	0.2 ↓
8 その他	5.6%	5.7%	0.1 ↑
9 わからない	0.2%	0.6%	0.4 ↑



全体でみると、「物価が上昇したため」(67.1%)が6割台半ばを超えて最も高くなっている。以下「医療費・介護費の出費が増えたため」(6.9%)、「不景気（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を含めた倒産、経営不振、解雇など）のため」(6.3%)の順となっている。

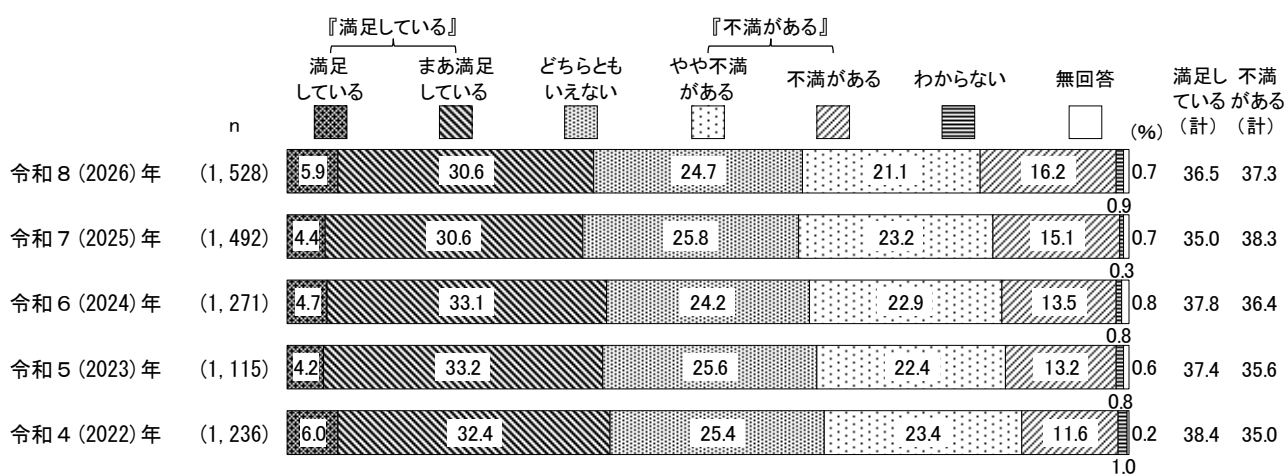
【過去調査との比較】

過去の調査結果と比較すると、「物価が上昇したため」が近年増加傾向にあり、令和4(2022)年(35.7%)から31.4ポイント増加している。

(3) 暮らしの満足度

問3 あなたは、今の暮らしについてどの程度満足していますか。次の中から1つ選んでください。
[n=1,528]

	令和 7 年 (2025年)		令和 8 年 (2026年)		令和 7 年との差	
1 満足している	4.4%	35.0%	5.9%	36.5%	1.5 ↑	1.5 ↑
2 まあ満足している	30.6%		30.6%		0.0 →	
3 どちらともいえない	25.8%		24.7%		1.1 ↓	
4 やや不満がある	23.2%	38.3%	21.1%	37.3%	2.1 ↓	1.0 ↓
5 不満がある	15.1%		16.2%		1.1 ↑	
6 わからない	0.3%		0.9%		0.6 ↑	



全体でみると、「満足している」(5.9%)と「まあ満足している」(30.6%)の2つを合わせた『満足している』(36.5%)が3割台半ばを超えている。一方、「やや不満がある」(21.1%)と「不満がある」(16.2%)の2つを合わせた『不満がある』(37.3%)は3割台半ばを超えている。また、「どちらともいえない」(24.7%)が2割台半ば近くとなっている。

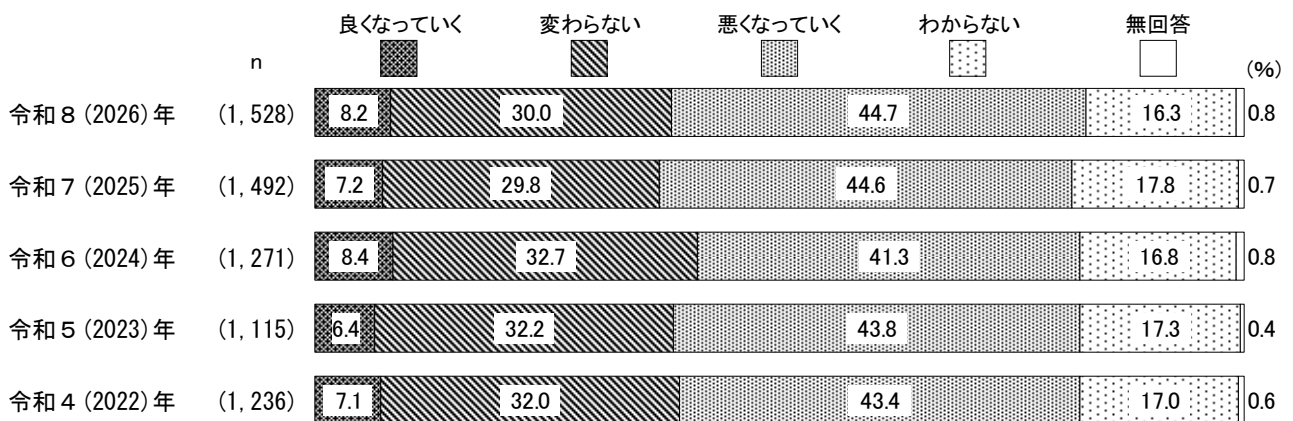
【過去調査との比較】

大きな傾向の違いはみられない。

（４）今後の暮らしの状況

問４ あなたの暮らしは、これから先どうなっていくと思いますか。次の中から１つ選んでください。
[n = 1, 528]

	令和 7 年 (2025年)	令和 8 年 (2026年)	令和 7 年 との差
1 良くなっていく	7.2%	8.2%	1.0 ↑
2 変わらない	29.8%	30.0%	0.2 ↑
3 悪くなっていく	44.6%	44.7%	0.1 ↑
4 わからない	17.8%	16.3%	1.5 ↓



全体でみると、「悪くなっていく」（44.7％）が４割台半ば近くとなっている。

【過去調査との比較】

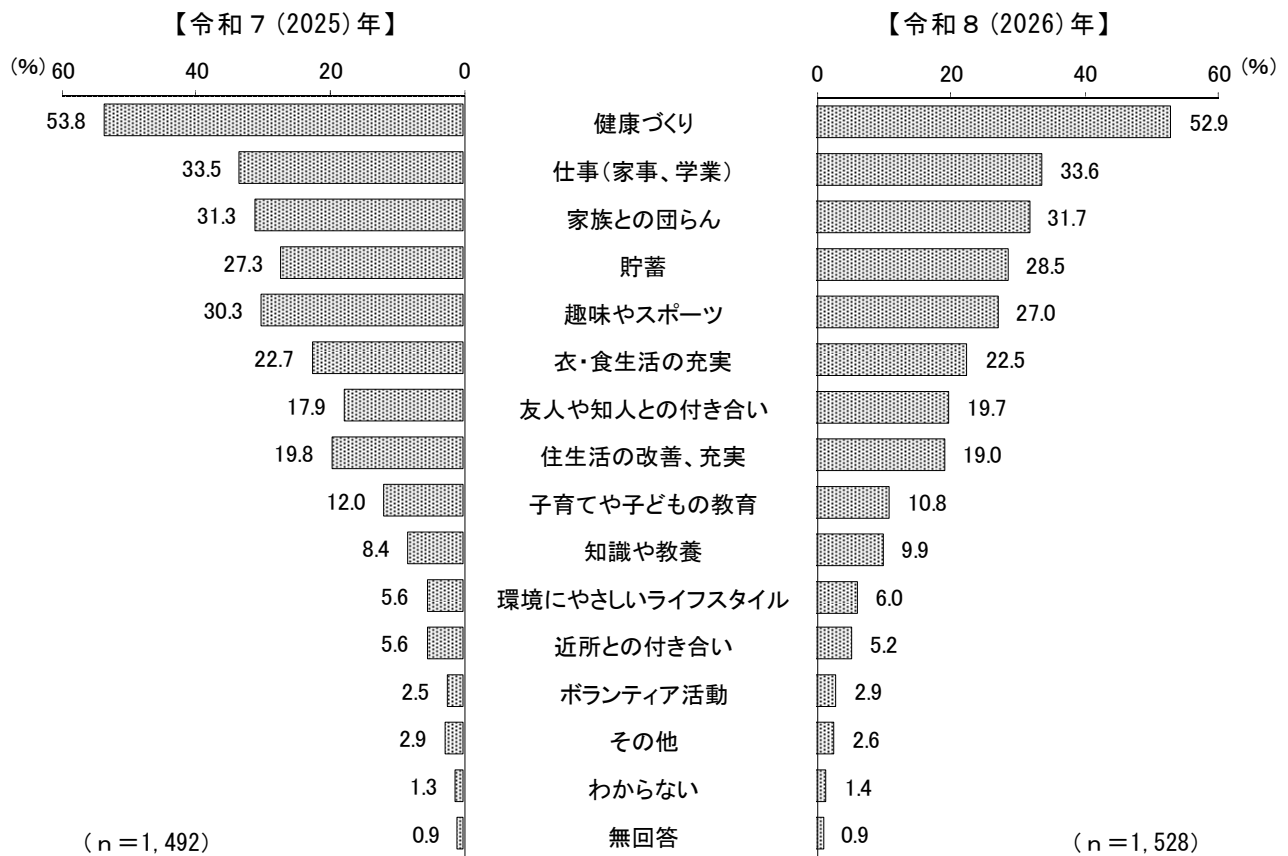
大きな傾向の違いはみられない。

(5) 今後の暮らしで力を入れる点

問5 あなたは、今後の暮らしの中で、どのような点に力を入れていきたいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

[n=1,528]

	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和7年 との差
1 仕事(家事、学業)	33.5%	33.6%	0.1 ↑
2 知識や教養	8.4%	9.9%	1.5 ↑
3 貯蓄	27.3%	28.5%	1.2 ↑
4 趣味やスポーツ	30.3%	27.0%	3.3 ↓
5 ボランティア活動	2.5%	2.9%	0.4 ↑
6 衣・食生活の充実	22.7%	22.5%	0.2 ↓
7 住生活の改善・充実	19.8%	19.0%	0.8 ↓
8 環境にやさしいライフスタイル	5.6%	6.0%	0.4 ↑
9 家族との団らん	31.3%	31.7%	0.4 ↑
10 近所との付き合い	5.6%	5.2%	0.4 ↓
11 友人や知人との付き合い	17.9%	19.7%	1.8 ↑
12 子育てや子どもの教育	12.0%	10.8%	1.2 ↓
13 健康づくり	53.8%	52.9%	0.9 ↓
14 その他	2.9%	2.6%	0.3 ↓
15 わからない	1.3%	1.4%	0.1 ↑



全体でみると、「健康づくり」(52.9%)が5割強と最も高く、次いで「仕事(家事、学業)」(33.6%)、「家族との団らん」(31.7%)、「貯蓄」(28.5%)、「趣味やスポーツ」(27.0%)の順となっている。

【過去調査との比較】

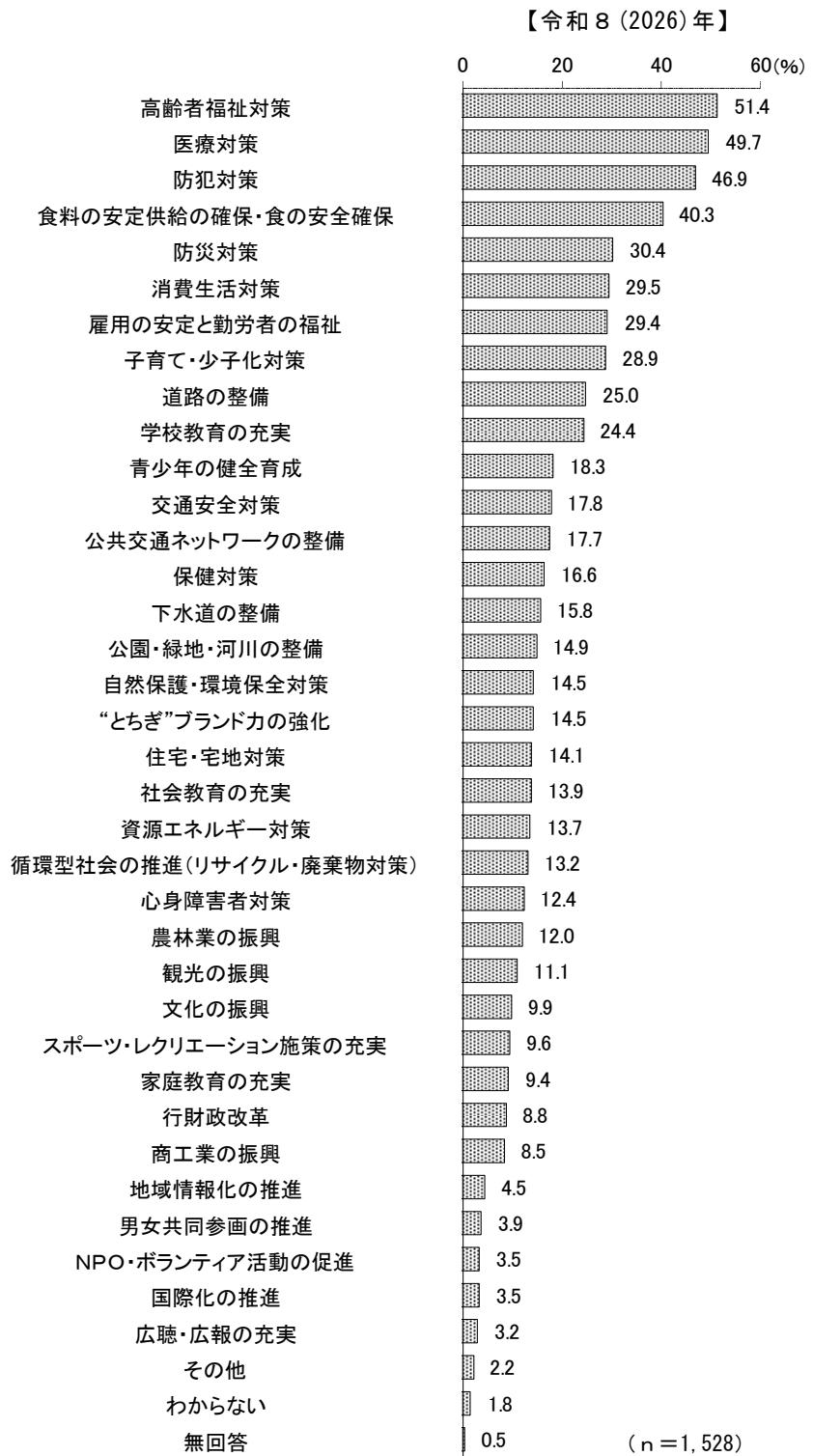
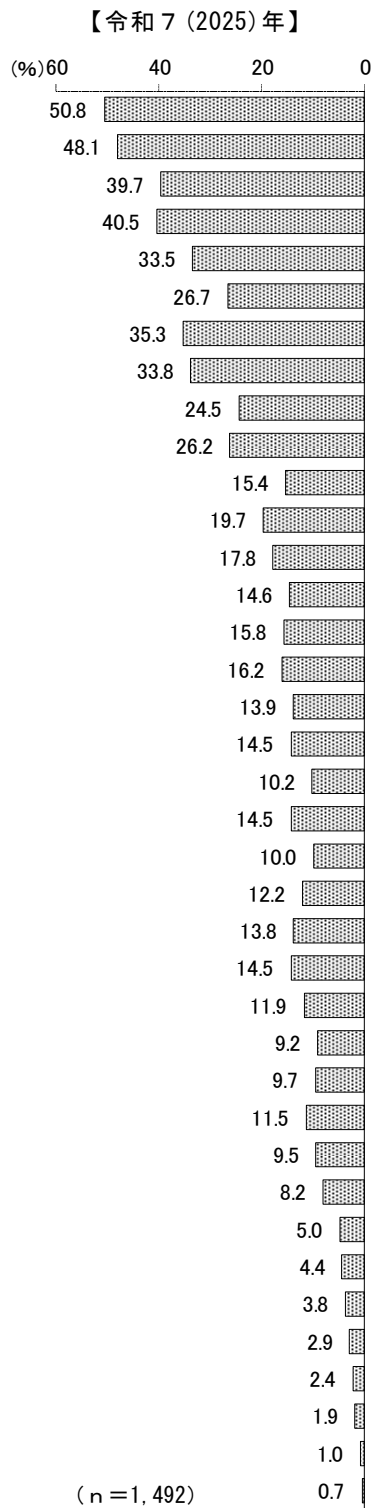
前回(令和7(2025)年)の調査結果と比較すると、「趣味やスポーツ」が3.3ポイント減少している。

2 県政への要望について

(1) 県政への要望

問6 県では、皆様のご理解とご協力を得ながら、「共に創る 人も地域も輝く “元気なとちぎ”」をめざして様々な仕事をしています。あなたが、県政に対して、特に力を入れてほしいことは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,528]

(上位10項目)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和7年 との差
高齢者福祉対策	50.8%	51.4%	0.6 ↑
医療対策	48.1%	49.7%	1.6 ↑
防犯対策	39.7%	46.9%	7.2 ↑
食料の安定供給の確保・食の安全確保	40.5%	40.3%	0.2 ↓
防災対策	33.5%	30.4%	3.1 ↓
消費生活対策	26.7%	29.5%	2.8 ↑
雇用の安定と勤労者の福祉	35.3%	29.4%	5.9 ↓
子育て・少子化対策	33.8%	28.9%	4.9 ↓
道路の整備	24.5%	25.0%	0.5 ↑
学校教育の充実	26.2%	24.4%	1.8 ↓



全体でみると、「高齢者福祉対策」(51.4%)が5割強で最も高く、次いで「医療対策」(49.7%)、「防犯対策」(46.9%)、「食料の安定供給の確保・食の安全確保」(40.3%)、「防災対策」(30.4%)、「消費生活対策」(29.5%)、「雇用の安定と勤労者の福祉」(29.4%)、「子育て・少子化対策」(28.9%)の順となっている。

【過去調査との比較】

前回(令和 7 (2025) 年)の調査結果と比較すると、「防犯対策」が7.2ポイント増加している。一方、「雇用の安定と勤労者の福祉」が5.9ポイント、「子育て・少子化対策」が4.9ポイントそれぞれ減少している。

[過去の調査結果一年齢別]

(上位5項目)

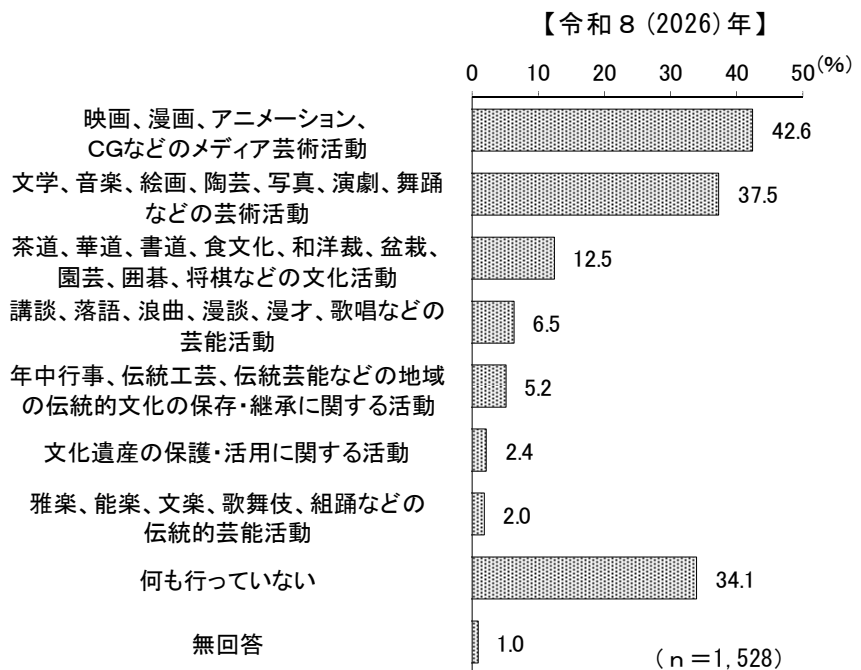
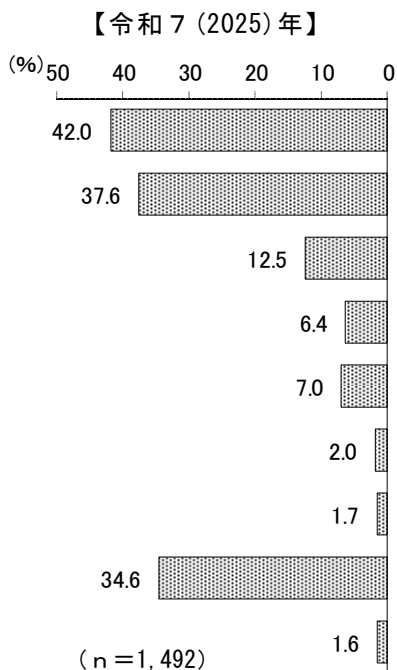
年齢	順位 年	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	令和8(2026)年 (n=1,528)	高齢者福祉対策 51.4%	医療対策 49.7%	防犯対策 46.9%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 40.3%	防災対策 30.4%
	令和7(2025)年 (n=1,492)	高齢者福祉対策 50.8%	医療対策 48.1%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 40.5%	防犯対策 39.7%	雇用の安定と勤労者 の福祉 35.3%
	令和6(2024)年 (n=1,271)	高齢者福祉対策 55.6%	医療対策 50.9%	子育て・少子化対策 41.2%	防災対策 36.4%	防犯対策 33.8%
	令和5(2023)年 (n=1,115)	高齢者福祉対策 56.4%	医療対策 49.6%	子育て・少子化対策 36.9%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 35.9%	雇用の安定と勤労者 の福祉 35.1%
	令和4(2022)年 (n=1,236)	高齢者福祉対策 52.7%	医療対策 47.2%	雇用の安定と勤労者 の福祉 35.6%	子育て・少子化対策 35.4%	防災対策 33.7%
20 〜 39 歳	令和8(2026)年 (n=278)	子育て・少子化対策 51.8%	雇用の安定と勤労者 の福祉 41.7%	防犯対策 37.4%	医療対策 37.1%	学校教育の充実 36.3%
	令和7(2025)年 (n=273)	子育て・少子化対策 49.5%	雇用の安定と勤労者 の福祉 41.8%	学校教育の充実 40.3%	医療対策 38.8%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 35.5%
	令和6(2024)年 (n=236)	子育て・少子化対策 55.5%	医療対策 46.6%	学校教育の充実 44.9%	防災対策 37.7%	防犯対策 36.0%
	令和5(2023)年 (n=188)	子育て・少子化対策 59.0%	雇用の安定と勤労者 の福祉 46.3%	学校教育の充実 44.1%	医療対策 43.1%	防犯対策 33.5%
	令和4(2022)年 (n=213)	子育て・少子化対策 52.1%	雇用の安定と勤労者 の福祉 43.7%	医療対策 41.8%	学校教育の充実 40.4%	防災対策 37.6%
40 〜 59 歳	令和8(2026)年 (n=484)	防犯対策 49.6%	医療対策 47.3%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 40.5%	高齢者福祉対策 40.1%	雇用の安定と勤労者 の福祉 37.0%
	令和7(2025)年 (n=484)	医療対策 48.1%	雇用の安定と勤労者 の福祉 47.7%	高齢者福祉対策 43.4%	防犯対策 42.1%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 39.9%
	令和6(2024)年 (n=382)	医療対策 49.2%	高齢者福祉対策／子育て・少子化対策 46.1%	学校教育の充実 40.3%	雇用の安定と勤労者 の福祉 40.1%	
	令和5(2023)年 (n=329)	医療対策 55.0%	高齢者福祉対策 51.1%	雇用の安定と勤労者 の福祉 45.0%	子育て・少子化対策 38.6%	防犯対策 34.7%
	令和4(2022)年 (n=379)	医療対策 53.6%	高齢者福祉対策 50.1%	雇用の安定と勤労者 の福祉 46.2%	子育て・少子化対策 39.6%	学校教育の充実／ 防災対策 34.8%
60 〜 69 歳	令和8(2026)年 (n=255)	高齢者福祉対策 69.8%	医療対策 56.5%	防犯対策 53.3%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 43.1%	防災対策 36.9%
	令和7(2025)年 (n=246)	高齢者福祉対策 61.0%	医療対策 48.0%	防犯対策 40.2%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 39.0%	防災対策 34.6%
	令和6(2024)年 (n=227)	高齢者福祉対策 72.2%	医療対策 62.1%	防災対策 42.3%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 37.4%	子育て・少子化対策 36.6%
	令和5(2023)年 (n=221)	高齢者福祉対策 67.4%	医療対策 51.6%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 38.0%	防犯対策 37.6%	防災対策 35.7%
	令和4(2022)年 (n=228)	高齢者福祉対策 61.4%	医療対策 46.9%	防災対策 32.0%	雇用の安定と勤労者 の福祉 31.6%	子育て・少子化対策 30.7%
70 歳 以上	令和8(2026)年 (n=471)	高齢者福祉対策 71.3%	医療対策 56.5%	防犯対策 47.3%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 42.5%	消費生活対策 25.1%
	令和7(2025)年 (n=454)	高齢者福祉対策 74.2%	医療対策 54.4%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 45.4%	防犯対策 40.1%	防災対策 33.0%
	令和6(2024)年 (n=401)	高齢者福祉対策 73.8%	医療対策 49.9%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 35.9%	防犯対策 35.2%	防災対策 32.9%
	令和5(2023)年 (n=355)	高齢者福祉対策 73.8%	医療対策 47.6%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 41.4%	防犯対策 31.8%	防災対策 27.9%
	令和4(2022)年 (n=379)	高齢者福祉対策 67.5%	医療対策 44.1%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 37.2%	防災対策 33.0%	防犯対策 26.9%

3 日常生活について

(1) 文化・芸術活動について

問7 あなたが日ごろ行っている文化・芸術活動（鑑賞を含む）は、どのようなものですか。次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,528]

	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和7年 との差
1 文学、音楽、絵画、陶芸、写真、演劇、舞踊などの芸術活動	37.6%	37.5%	0.1 ↓
2 映画、漫画、アニメーション、CGなどのメディア芸術活動	42.0%	42.6%	0.6 ↑
3 雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊などの伝統的芸能活動	1.7%	2.0%	0.3 ↑
4 講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱などの芸能活動	6.4%	6.5%	0.1 ↑
5 茶道、華道、書道、食文化、和洋裁、盆栽、園芸、囲碁、将棋などの文化活動	12.5%	12.5%	0.0 →
6 年中行事、伝統工芸、伝統芸能などの地域の伝統的文化的保存・継承に関する活動	7.0%	5.2%	1.8 ↓
7 文化遺産の保護・活用に関する活動	2.0%	2.4%	0.4 ↑
8 何も行っていない	34.6%	34.1%	0.5 ↓

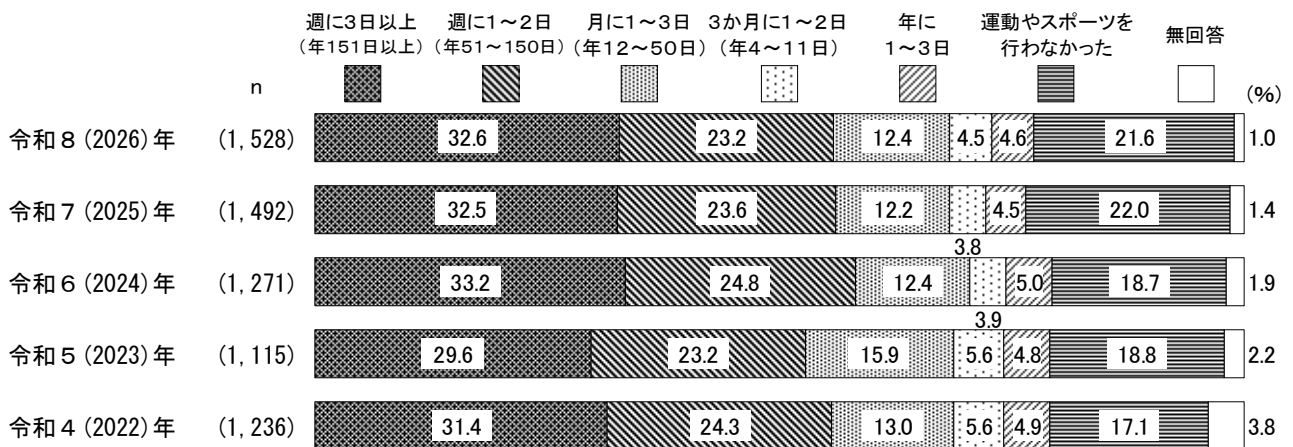


(2) スポーツ活動について

問8 あなたは、この1年間にどの程度運動やスポーツ(※)を行いましたか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,528]

※ ここでは「運動やスポーツ」を、「散歩や階段昇降など、健康・体力や美容の保持増進のための活動」や「家事・育児・通勤・通学など日常生活の中で意識的に身体を動かすこと」まで幅広く捉えることとします。

	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和7年 との差
1 週に3日以上 (年151日以上)	32.5%	32.6%	0.1 ↑
2 週に1～2日 (年51～150日)	23.6%	23.2%	0.4 ↓
3 月に1～3日 (年12～50日)	12.2%	12.4%	0.2 ↑
4 3か月に1～2日 (年4～11日)	3.8%	4.5%	0.7 ↑
5 年に1～3日	4.5%	4.6%	0.1 ↑
6 運動やスポーツを行わなかった	22.0%	21.6%	0.4 ↓

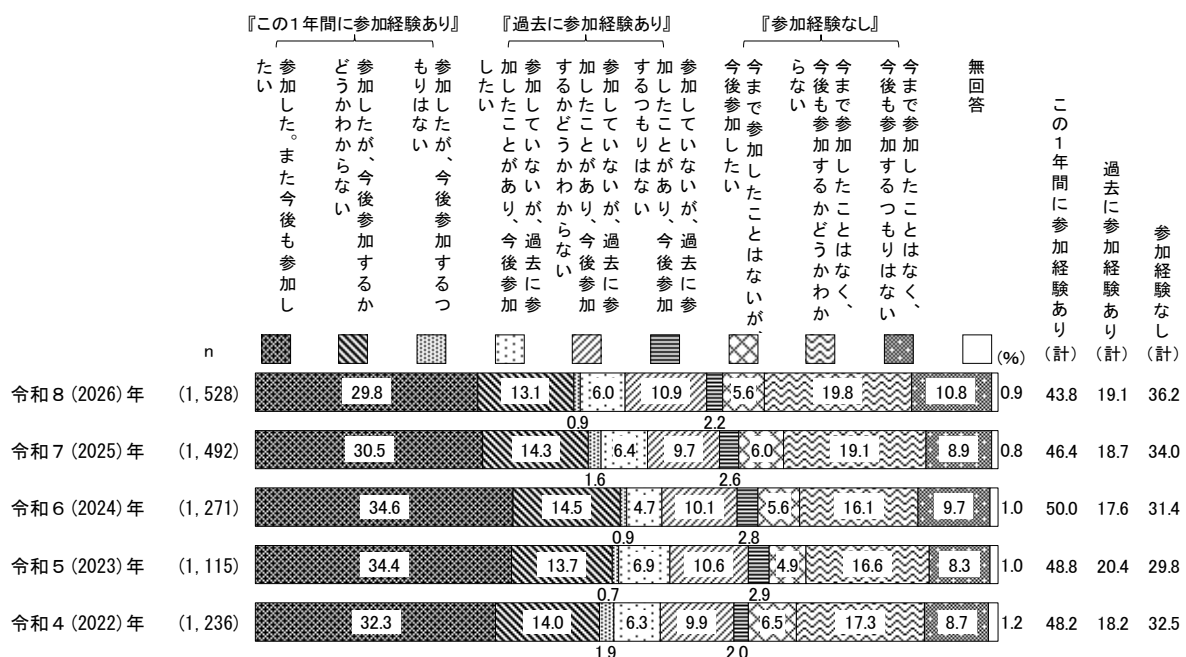


(3) 社会貢献活動について

問9 あなたは、この1年間に社会貢献活動(※)に参加しましたか。また、今後参加したいと
 思いますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,528]

※ 社会貢献活動とは、例えば、募金、寄附、プルタブ・エコキャップなどの物品収集、公園清掃などの活動、ボランティアやNPO(非営利活動団体)活動、コミュニティ活動、自治会、育成会などの地域活動などをいいます。

	令和7年(2025年)		令和8年(2026年)		令和7年との差	
1 参加した。また今後も参加したい	30.5%	46.4%	29.8%	43.8%	0.7 ↓	2.6 ↓
2 参加したが、今後参加するかどうか わからない	14.3%		13.1%		1.2 ↓	
3 参加したが、今後参加するつもりはない	1.6%		0.9%		0.7 ↓	
4 参加していないが、過去に参加した ことがあり、今後参加したい	6.4%	18.7%	6.0%	19.1%	0.4 ↓	0.4 ↑
5 参加していないが、過去に参加した ことがあり、今後参加するかどうか わからない	9.7%		10.9%		1.2 ↑	
6 参加していないが、過去に参加した ことがあり、今後参加するつもりはない	2.6%		2.2%		0.4 ↓	
7 今まで参加したことはないが、 今後参加したい	6.0%	34.0%	5.6%	36.2%	0.4 ↓	2.2 ↑
8 今まで参加したことはなく、 今後参加するかどうか わからない	19.1%		19.8%		0.7 ↑	
9 今まで参加したことはなく、 今後参加するつもりはない	8.9%		10.8%		1.9 ↑	

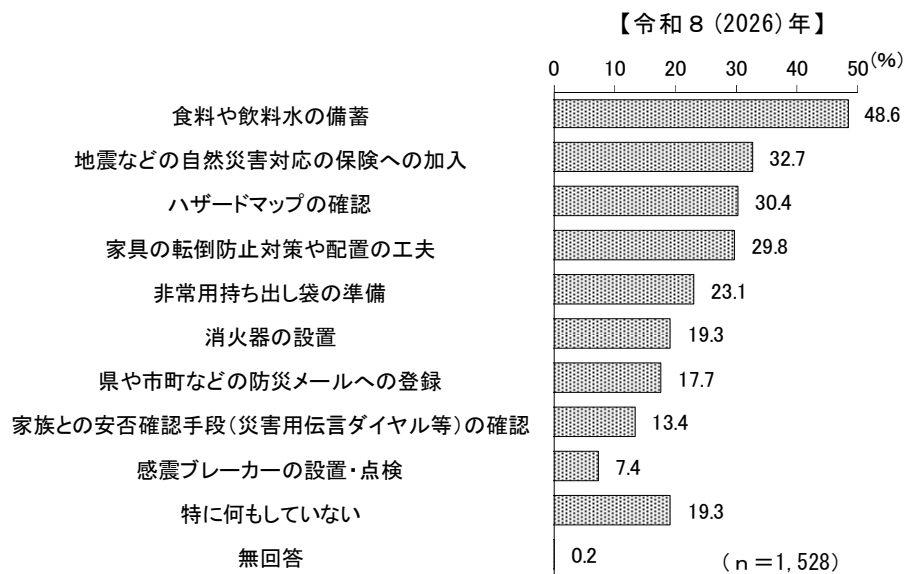
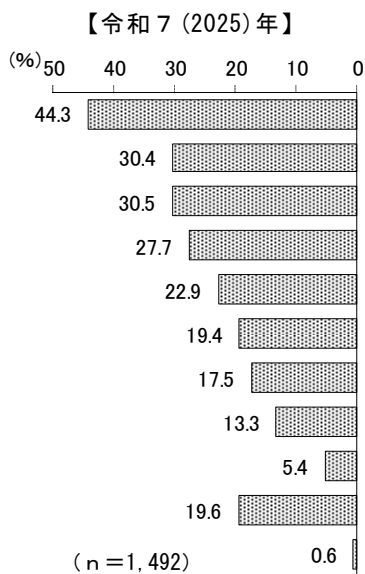


4 防災対策について

(1) 災害に対する備え

問10 あなたの家庭では、災害に対してどのような備えをしていますか。次の中からいくつでも選んでください。 [n = 1, 528]

	令和 7 年 (2025年)	令和 8 年 (2026年)	令和 7 年 との差
1 家具の転倒防止対策や配置の工夫	27.7%	29.8%	2.1 ↑
2 ハザードマップの確認	30.5%	30.4%	0.1 ↓
3 非常用持ち出し袋の準備	22.9%	23.1%	0.2 ↑
4 食料や飲料水の備蓄	44.3%	48.6%	4.3 ↑
5 消火器の設置	19.4%	19.3%	0.1 ↓
6 感震ブレーカーの設置・点検	5.4%	7.4%	2.0 ↑
7 県や市町などの防災メールへの登録	17.5%	17.7%	0.2 ↑
8 地震などの自然災害対応の保険への加入	30.4%	32.7%	2.3 ↑
9 家族との安否確認手段（災害用伝言ダイヤル等）の確認	13.3%	13.4%	0.1 ↑
10 特に何もしていない	19.6%	19.3%	0.3 ↓

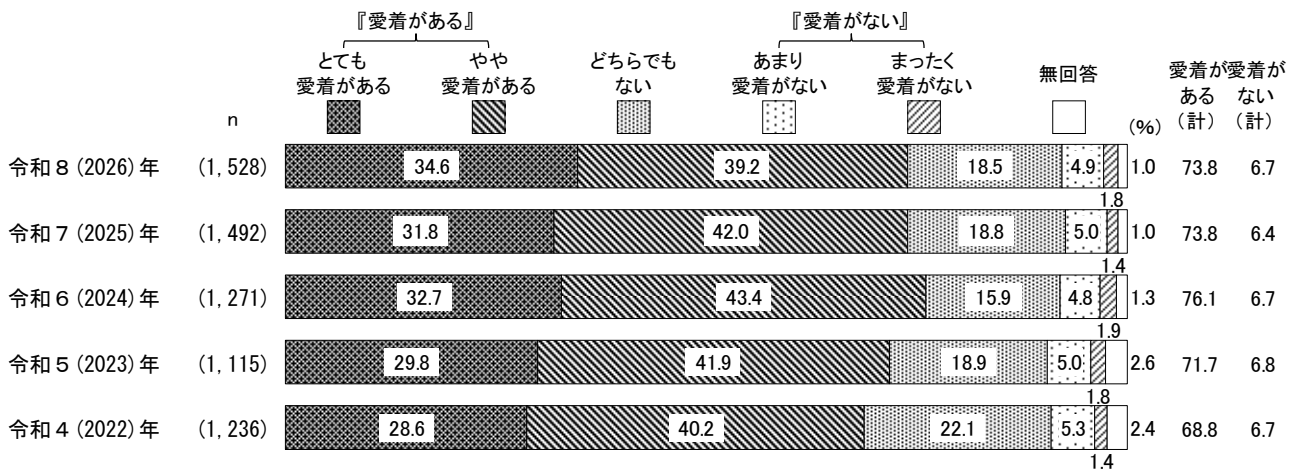


5 栃木県への愛着と誇りについて

(1) 栃木県に対する愛着

問11 あなたは、「栃木県」に対してどの程度愛着を感じていますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,528]

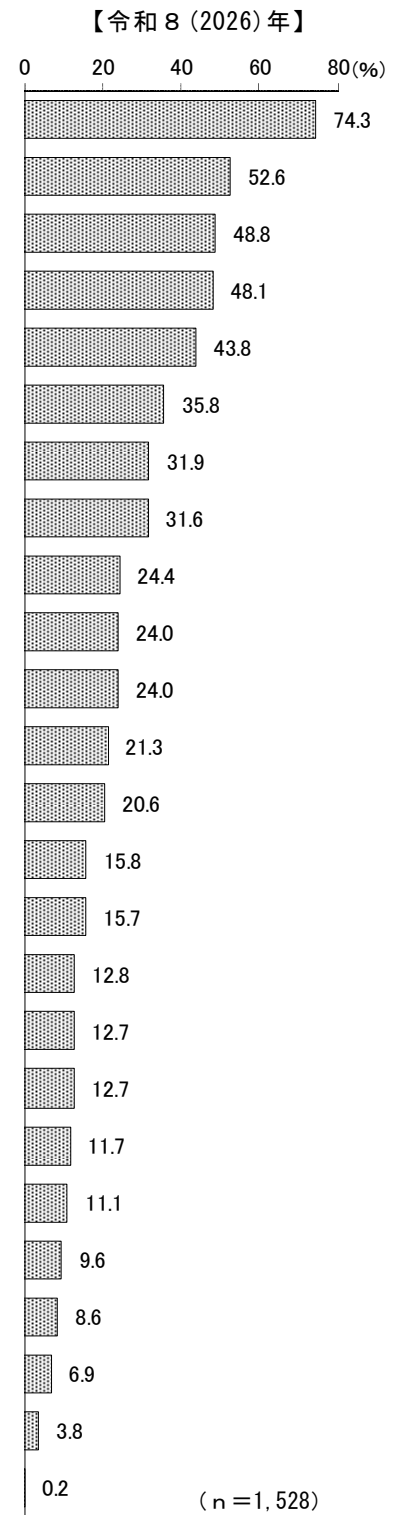
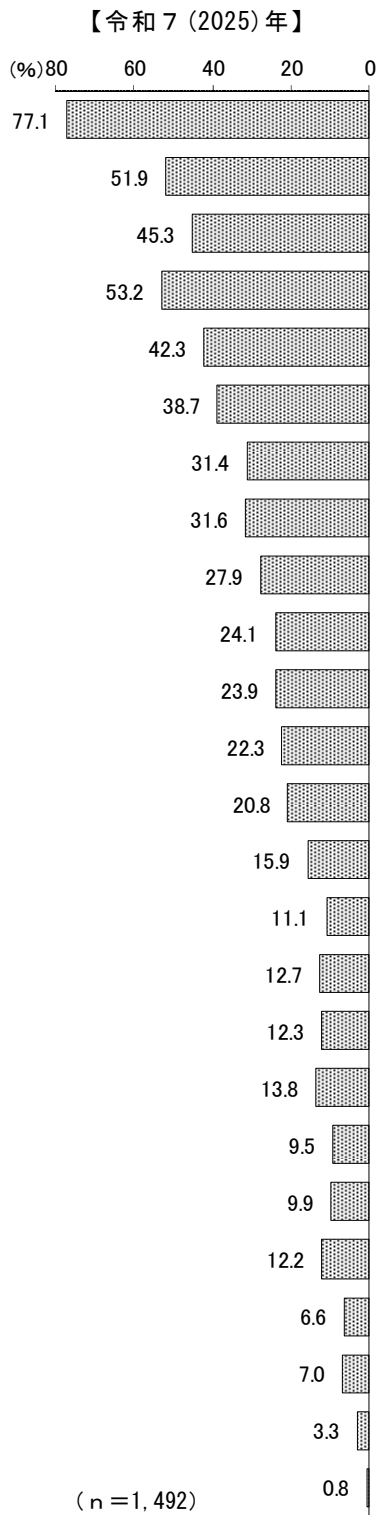
	令和 7 年(2025年)		令和 8 年 (2026年)		令和 7 年との差	
1 とても愛着がある	31.8%	73.8%	34.6%	73.8%	2.8 ↑	0.0 →
2 やや愛着がある	42.0%		39.2%		2.8 ↓	
3 どちらでもない	18.8%		18.5%		0.3 ↓	
4 あまり愛着がない	5.0%	6.4%	4.9%	6.7%	0.1 ↓	0.3 ↑
5 まったく愛着がない	1.4%		1.8%		0.4 ↑	



(2) 栃木県の魅力あるものとして自慢できるもの

問12 あなたが「栃木県」の魅力あるものとして自慢できるもの、オススメするものは何ですか。
次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,528]

	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和7年 との差
1 日光・那須に代表される雄大な自然や四季折々の風景	77.1%	74.3%	2.8 ↓
2 鬼怒川や塩原など源泉総数全国10位の温泉や宿泊施設	42.3%	43.8%	1.5 ↑
3 「あしかがフラワーパーク」や 「モビリティリゾートもてぎ」などのレジャー施設	38.7%	35.8%	2.9 ↓
4 栃木県総合運動公園の「カンセキスタジアム」や 「日環アリーナ」などのスポーツ施設やスポーツ環境	11.1%	15.7%	4.6 ↑
5 佐野・那須のアウトレットやインターパークなどの 大規模商業施設	22.3%	21.3%	1.0 ↓
6 博物館や美術館などの文化施設	7.0%	6.9%	0.1 ↓
7 無形文化遺産の「烏山の山あげ行事」や 「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」などの伝統芸能	12.2%	9.6%	2.6 ↓
8 「蔵の街とちぎ」などに代表される歴史的景観や街並み	15.9%	15.8%	0.1 ↓
9 世界遺産「日光の社寺」や日本最古の大学である 「足利学校」などの歴史文化遺産	53.2%	48.1%	5.1 ↓
10 「益子焼」や「結城紬」などの伝統工芸品	31.6%	31.6%	0.0 →
11 半世紀以上にわたり生産量全国1位のいちごなどの農産物	45.3%	48.8%	3.5 ↑
12 生産量全国2位の生乳や世界的コンテストで 複数回入賞したナチュラルチーズなどの牛乳乳製品	9.5%	11.7%	2.2 ↑
13 「宇都宮餃子®」や「佐野ラーメン」などのご当地グルメ	51.9%	52.6%	0.7 ↑
14 世界的コンテストで最高賞を受賞する日本酒	6.6%	8.6%	2.0 ↑
15 人のやさしさ・おもてなし	9.9%	11.1%	1.2 ↑
16 親しみのある方言・なまり	12.3%	12.7%	0.4 ↑
17 一人当たりの県民所得全国6位の豊かさや 自然災害が少ないなどの住みやすさ	24.1%	24.0%	0.1 ↓
18 こども医療費の全額助成などの充実した子育て支援	12.7%	12.8%	0.1 ↑
19 全国初の全線新設の「芳賀・宇都宮LRT」	20.8%	20.6%	0.2 ↓
20 都心へのアクセスの良さ	23.9%	24.0%	0.1 ↑
21 「とちまるくん」や「さのまる」などのご当地キャラクター	13.8%	12.7%	1.1 ↓
22 リーグ優勝複数回を誇る「宇都宮ブレックス」などの プロスポーツチームやスポーツ選手	27.9%	24.4%	3.5 ↓
23 「U字工事さん」や「井上咲楽さん」などの栃木県出身の 有名人・著名人	31.4%	31.9%	0.5 ↑
24 特にない	3.3%	3.8%	0.5 ↑

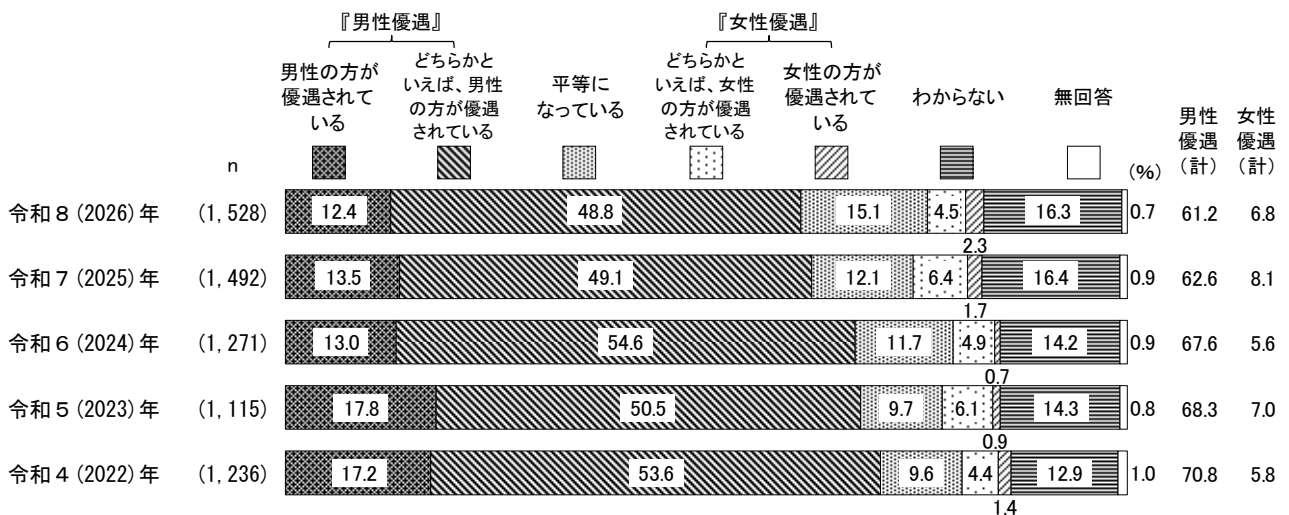


6 男女平等意識について

(1) 社会全体の中での男女の地位の平等感

問13 あなたは、現在、社会全体の中で、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。
次の中から1つ選んでください。 [n = 1, 528]

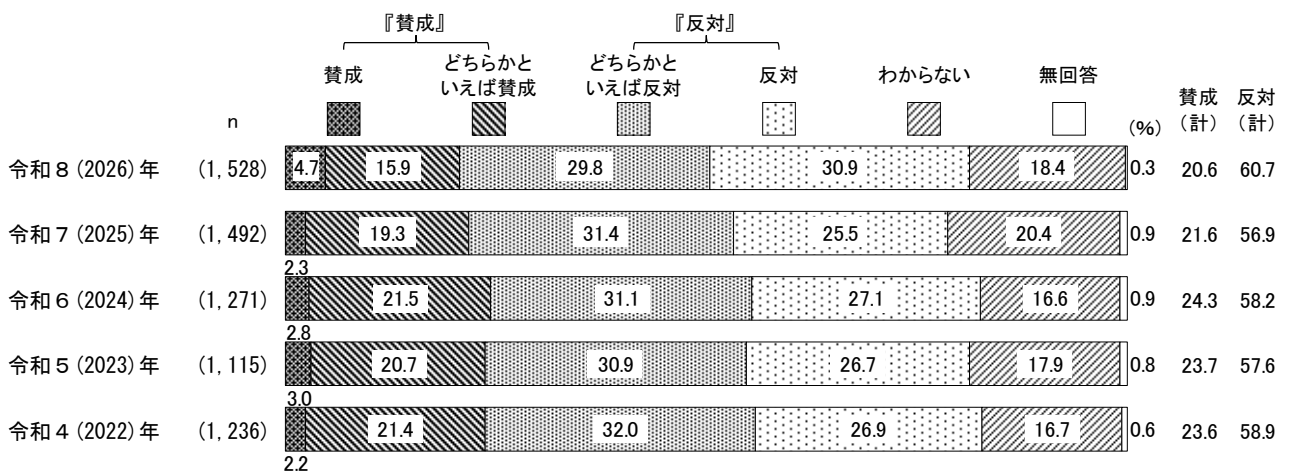
	令和7年(2025年)		令和8年(2026年)		令和7年との差	
1 男性の方が優遇されている	13.5%	62.6%	12.4%	61.2%	1.1 ↓	1.4 ↓
2 どちらかといえば、男性の方が優遇されている	49.1%		48.8%		0.3 ↓	
3 平等になっている	12.1%		15.1%		3.0 ↑	
4 どちらかといえば、女性の方が優遇されている	6.4%	8.1%	4.5%	6.8%	1.9 ↓	1.3 ↓
5 女性の方が優遇されている	1.7%		2.3%		0.6 ↑	
6 わからない	16.4%		16.3%		0.1 ↓	



(2) 固定的な性別役割分担意識

問14 あなたは、「男は外で働き、女は家庭を守るべき」との考え方について、どのように思いますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,528]

	令和 7 年 (2025年)		令和 8 年 (2026年)		令和 7 年との差	
1 賛成	2.3%	21.6%	4.7%	20.6%	2.4 ↑	1.0 ↓
2 どちらかといえば賛成	19.3%		15.9%		3.4 ↓	
3 どちらかといえば反対	31.4%	56.9%	29.8%	60.7%	1.6 ↓	3.8 ↑
4 反対	25.5%		30.9%		5.4 ↑	
5 わからない	20.4%		18.4%		2.0 ↓	

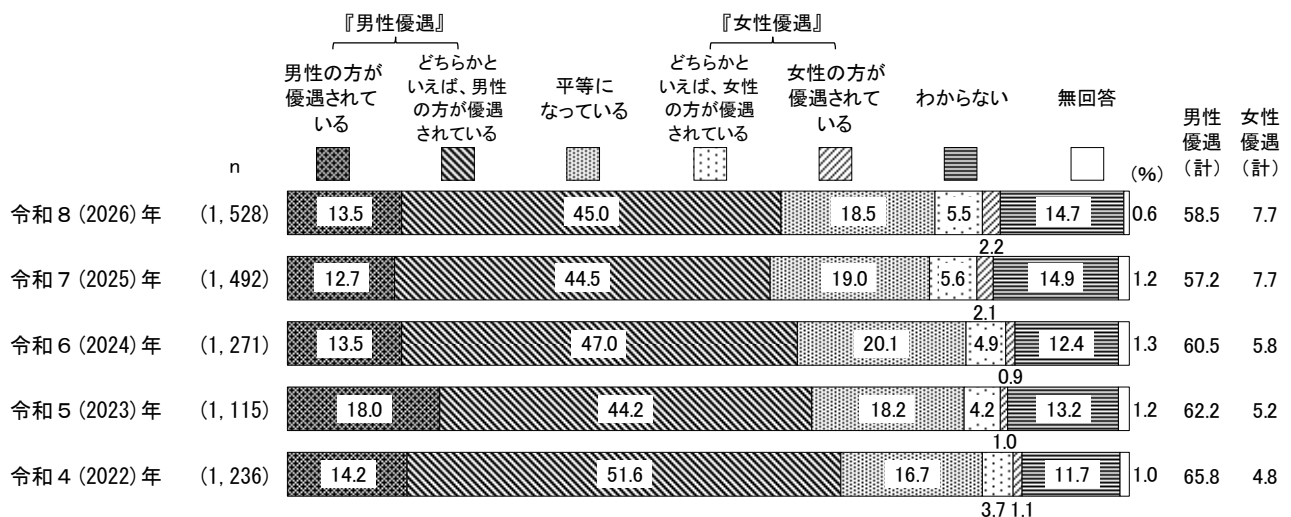


(3) 働く場での男女の地位の平等感

問15 あなたは、現在、働く場において、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。
 次の中から1つ選んでください。(現在働いていない方も、イメージでお答えください。)

[n=1,528]

	令和 7 年 (2025年)		令和 8 年 (2026年)		令和 7 年との差	
1 男性の方が優遇されている	12.7%	57.2%	13.5%	58.5%	0.8 ↑	1.3 ↑
2 どちらかといえば、男性の方が優遇されている	44.5%		45.0%		0.5 ↑	
3 平等になっている	19.0%		18.5%		0.5 ↓	
4 どちらかといえば、女性の方が優遇されている	5.6%	7.7%	5.5%	7.7%	0.1 ↓	0.0 →
5 女性の方が優遇されている	2.1%		2.2%		0.1 ↑	
6 わからない	14.9%		14.7%		0.2 ↓	

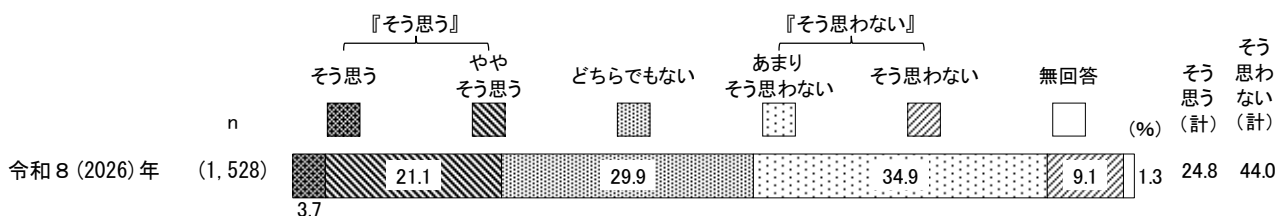


7 あらゆる人々が活躍できる環境づくりについて

(1) あらゆる人々が共に活躍できる社会となっていることへの意識

問16	あなたは、現在、栃木県内に暮らす高齢者、障害者、外国人等あらゆる人々が、地域を構成する一員として共に活躍できる社会となっていると思いますか。次の中から1つ選んでください。	[n =1, 528]
-----	---	---------------

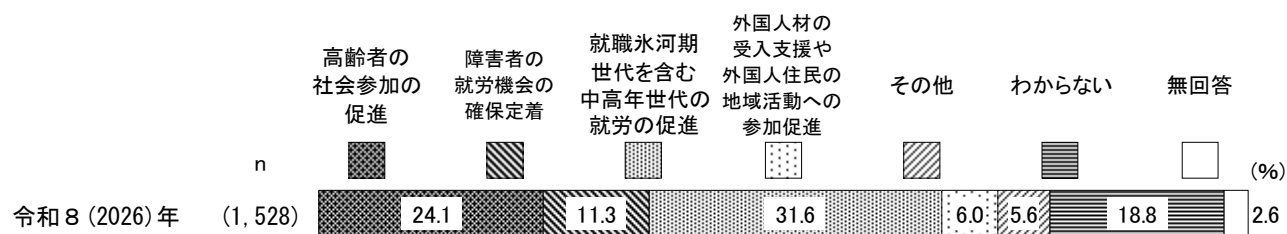
	令和8年（2026年）	
1 そう思う	3.7%	24.8%
2 ややそう思う	21.1%	
3 どちらでもない		29.9%
4 あまりそう思わない	34.9%	44.0%
5 そう思わない	9.1%	



(2) あらゆる人々が活躍できる環境づくりに向けて力を入れた方がよいと考える取組

問17 あらゆる人々が活躍できる環境づくりに向けて、さらに力を入れた方がよいと考える取組は何ですか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,528]

	令和8年 (2026年)
1 高齢者の社会参加の促進	24.1%
2 障害者の就労機会の確保定着	11.3%
3 就職氷河期世代を含む中高年世代の就労の促進	31.6%
4 外国人材の受入支援や外国人住民の地域活動への参加促進	6.0%
5 その他	5.6%
6 わからない	18.8%

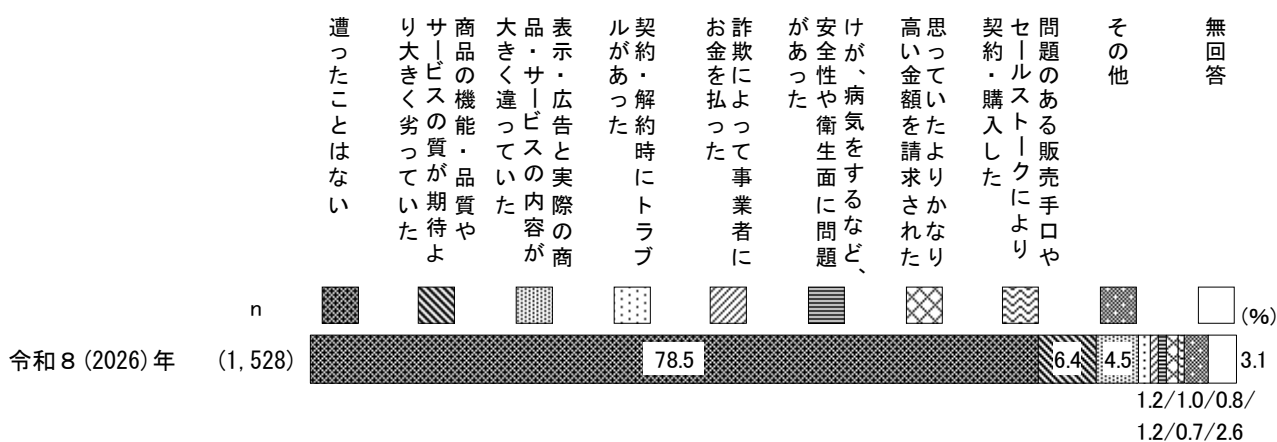


8 消費生活に関する意識について

(1) 消費者トラブルへの遭遇

問18 あなたが、この1年間に購入・利用した商品やサービスについて、「表示・広告と実際の商品・サービスの内容が違っていた」「契約・解約時のトラブルで被害にあった」等の消費者トラブルに遭ったことはありますか。トラブルに遭ったことがある場合は、その内容を次の中から1つ選んでください。 [n = 1, 528]

	令和8年 (2026年)
1 遭ったことはない	78.5%
2 商品の機能・品質やサービスの質が期待より大きく劣っていた	6.4%
3 表示・広告と実際の商品・サービスの内容が大きく違っていた	4.5%
4 契約・解約時にトラブルがあった	1.2%
5 詐欺によって事業者にお金を払った	1.0%
6 けが、病気をするなど、安全性や衛生面に問題があった	0.8%
7 思っていたよりかなり高い金額を請求された	1.2%
8 問題のある販売手口やセールストークにより契約・購入した	0.7%
9 その他	2.6%



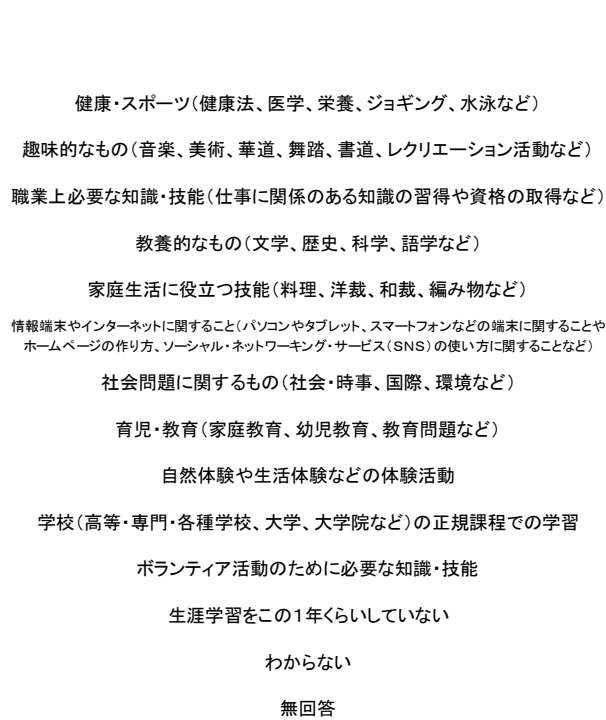
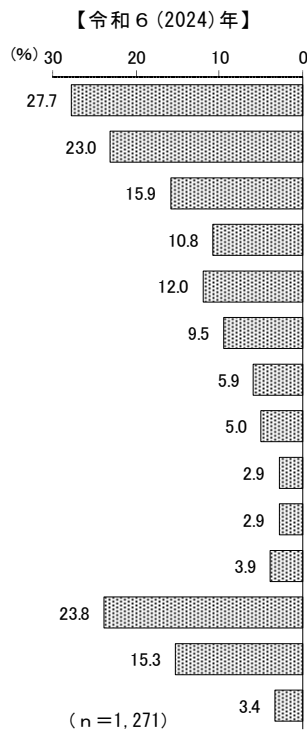
9 生涯学習について

(1) 直近1年間に行った生涯学習の種類

問19 あなたは、この1年くらいの間に、生涯学習（※）をしたことがありますか。次の中から
いくつでも選んでください。 [n=1,528]

※ 生涯学習とは、人々が、生涯のいつでも、どこでも、自由に行う学習活動のことで、学校での学習や公民館などにおける講座等の学習はもとより、自分から進んで行う学習やスポーツ、文化活動、趣味、ボランティア活動などの様々な学習活動のことをいいます。

	令和6年 (2024年)	令和8年 (2026年)	令和6年 との差
1 趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踏、書道、 レクリエーション活動など）	23.0%	21.2%	1.8 ↓
2 教養的なもの（文学、歴史、科学、語学など）	10.8%	10.5%	0.3 ↓
3 社会問題に関するもの（社会・時事、国際、環境など）	5.9%	5.0%	0.9 ↓
4 健康・スポーツ （健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）	27.7%	23.8%	3.9 ↓
5 家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）	12.0%	10.1%	1.9 ↓
6 育児・教育（家庭教育、幼児教育、教育問題など）	5.0%	4.2%	0.8 ↓
7 職業上必要な知識・技能 （仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）	15.9%	12.3%	3.6 ↓
8 情報端末やインターネットに関すること（パソコンやタブ レット、スマートフォンなどの端末に関することやホーム ページの作り方、ソーシャル・ネットワーキング・サービ ス（SNS）の使い方に関することなど）	9.5%	8.0%	1.5 ↓
9 ボランティア活動のために必要な知識・技能	3.9%	2.6%	1.3 ↓
10 自然体験や生活体験などの体験活動	2.9%	3.1%	0.2 ↑
11 学校（高等・専門・各種学校、大学、大学院など）の 正規課程での学習	2.9%	2.7%	0.2 ↓
12 生涯学習をこの1年くらいしていない	23.8%	29.8%	6.0 ↑
13 わからない	15.3%	14.1%	1.2 ↓



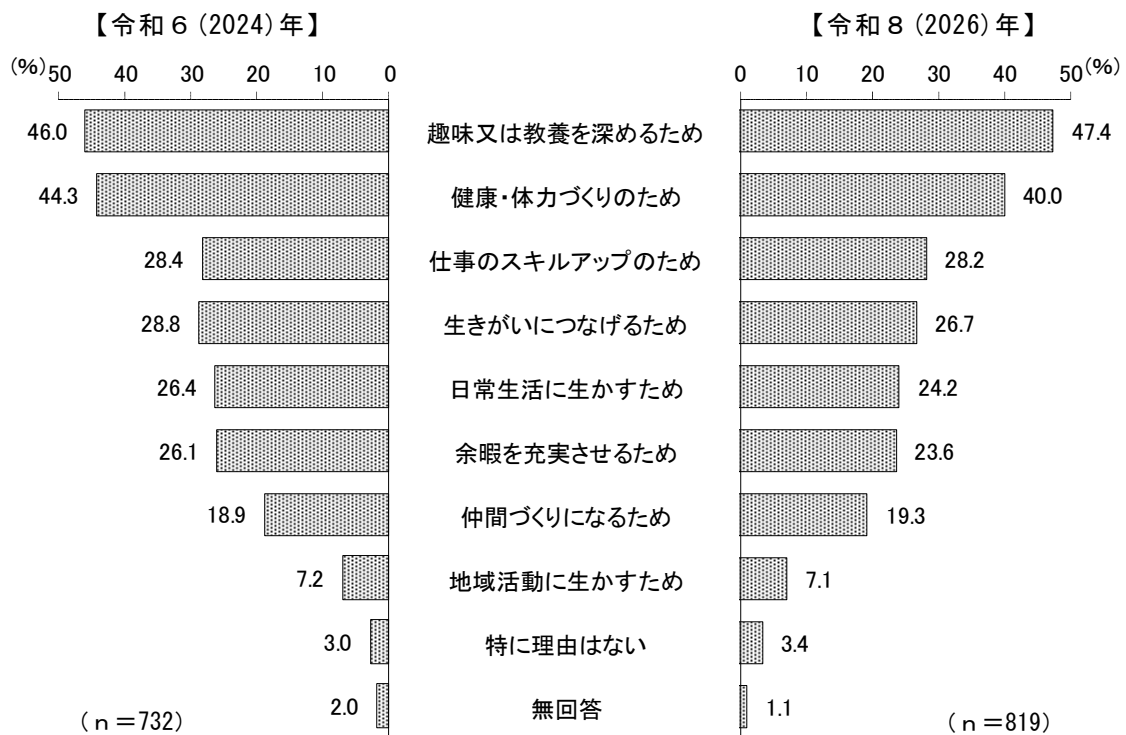
(2) 生涯学習を行った理由

(問19で選択肢「1」～「11」を選んだ方のみお答えください)

問20 あなたが、生涯学習を行った理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=819]

	令和 6 年 (2024年)	令和 8 年 (2026年)	令和 6 年 との差
1 趣味又は教養を深めるため	46.0%	47.4%	1.4 ↑
2 仲間づくりになるため	18.9%	19.3%	0.4 ↑
3 生きがいにつなげるため	28.8%	26.7%	2.1 ↓
4 健康・体力づくりのため	44.3%	40.0%	4.3 ↓
5 仕事のスキルアップのため	28.4%	28.2%	0.2 ↓
6 地域活動に生かすため	7.2%	7.1%	0.1 ↓
7 日常生活に生かすため	26.4%	24.2%	2.2 ↓
8 余暇を充実させるため	26.1%	23.6%	2.5 ↓
9 特に理由はない	3.0%	3.4%	0.4 ↑

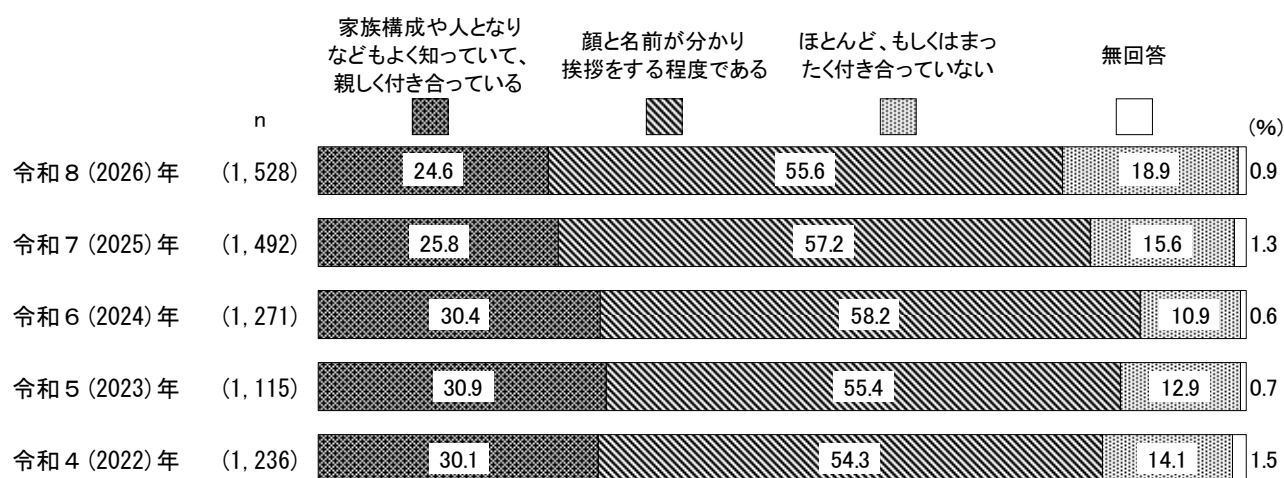


10 地域のつながりについて

(1) ご近所との関係

問21	あなたは現在、ご近所（両隣など）の方とどのような関係ですか。次の中から1つ選んでください。	[n =1, 528]
-----	---	---------------

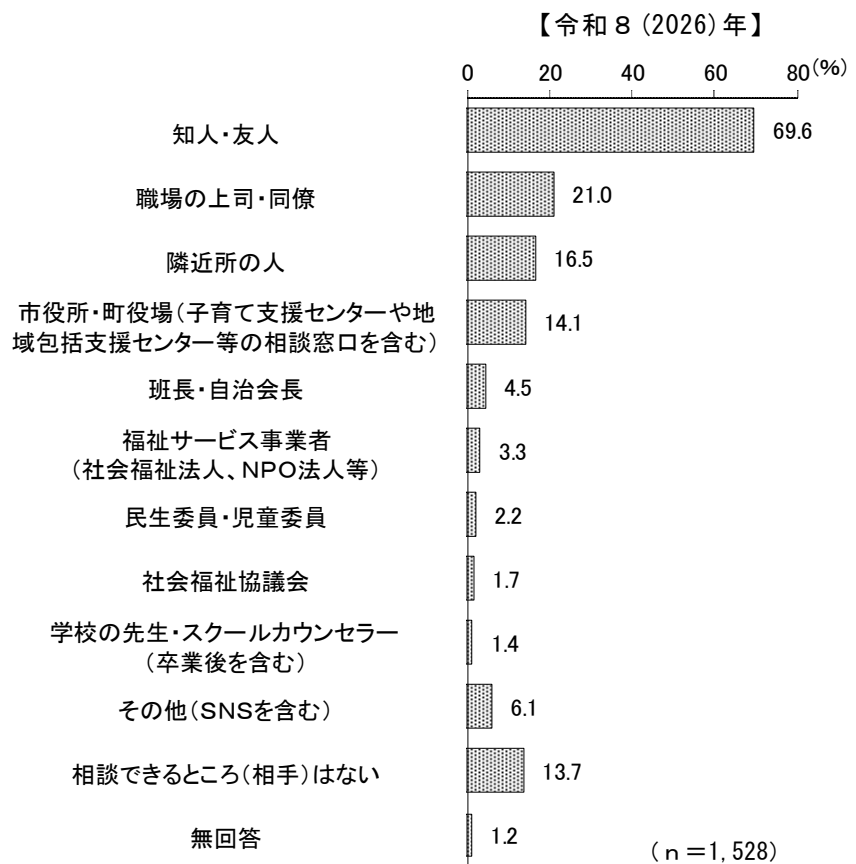
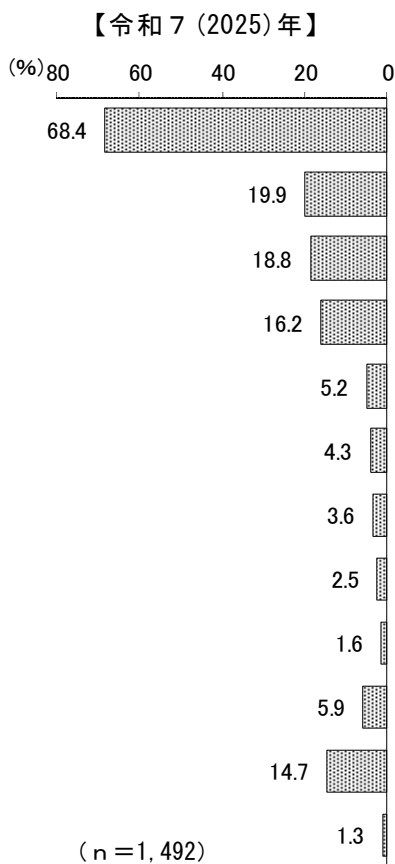
	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和7年 との差
1 家族構成や人となりなどもよく知っていて、 親しく付き合っている	25.8%	24.6%	1.2 ↓
2 顔と名前が分かり挨拶をする程度である	57.2%	55.6%	1.6 ↓
3 ほとんど、もしくはまったく付き合っていない	15.6%	18.9%	3.3 ↑



(2) 家族・親族以外で相談できるところ・人

問22 日常生活で困ったときに、家族・親族以外で相談できるところ（相手）はどこ（誰）ですか。次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,528]

	令和 7 年 (2025年)	令和 8 年 (2026年)	令和 7 年 との差
1 知人・友人	68.4%	69.6%	1.2 ↑
2 隣近所の人	18.8%	16.5%	2.3 ↓
3 民生委員・児童委員	3.6%	2.2%	1.4 ↓
4 班長・自治会長	5.2%	4.5%	0.7 ↓
5 社会福祉協議会	2.5%	1.7%	0.8 ↓
6 市役所・町役場（子育て支援センターや 地域包括支援センター等の相談窓口を含む）	16.2%	14.1%	2.1 ↓
7 福祉サービス事業者（社会福祉法人、NPO法人等）	4.3%	3.3%	1.0 ↓
8 学校の先生・スクールカウンセラー（卒業後を含む）	1.6%	1.4%	0.2 ↓
9 職場の上司・同僚	19.9%	21.0%	1.1 ↑
10 その他（SNSを含む）	5.9%	6.1%	0.2 ↑
11 相談できるところ（相手）はない	14.7%	13.7%	1.0 ↓



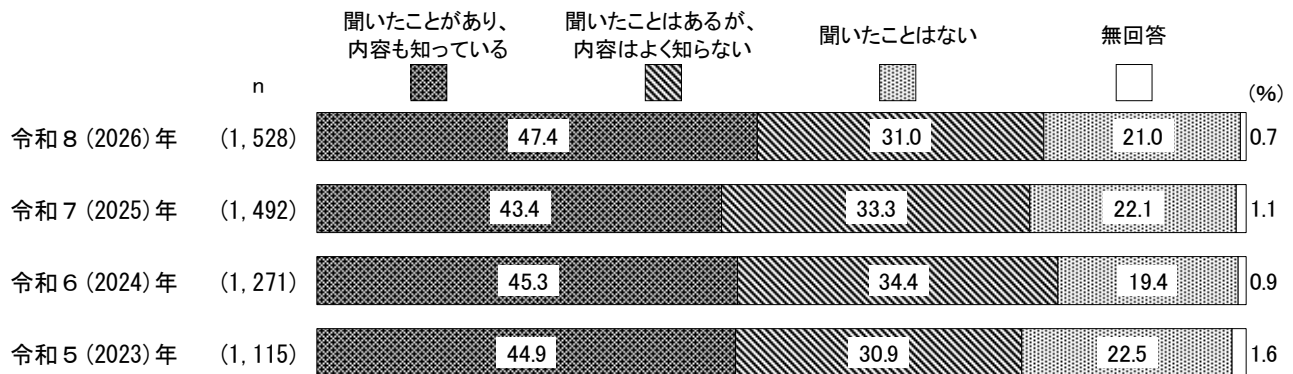
11 ケアラーについて

(1) ケアラーという言葉の認知度

問23 あなたは、「ケアラー」(18歳未満のヤングケアラーを含む。)(※)という言葉を知っていますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,528]

※ 栃木県では、全てのケアラーが個人として尊重され、社会から孤立することなく、安心して生活することができる地域社会の実現に向けて、令和5年4月に栃木県ケアラー支援条例を施行しました。この条例において、「ケアラー」とは、「高齢、障害、疾病等の理由により援助を必要とする家族、身近な人その他の者に対し、無償で介護、看護、日常生活上の世話その他の援助を提供する」方と定義しており、「ヤングケアラー」とは、このうち18歳未満の方をいいます。

	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和7年 との差
1 聞いたことがあります、内容も知っている	43.4%	47.4%	4.0 ↑
2 聞いたことはあるが、内容はよく知らない	33.3%	31.0%	2.3 ↓
3 聞いたことはない	22.1%	21.0%	1.1 ↓

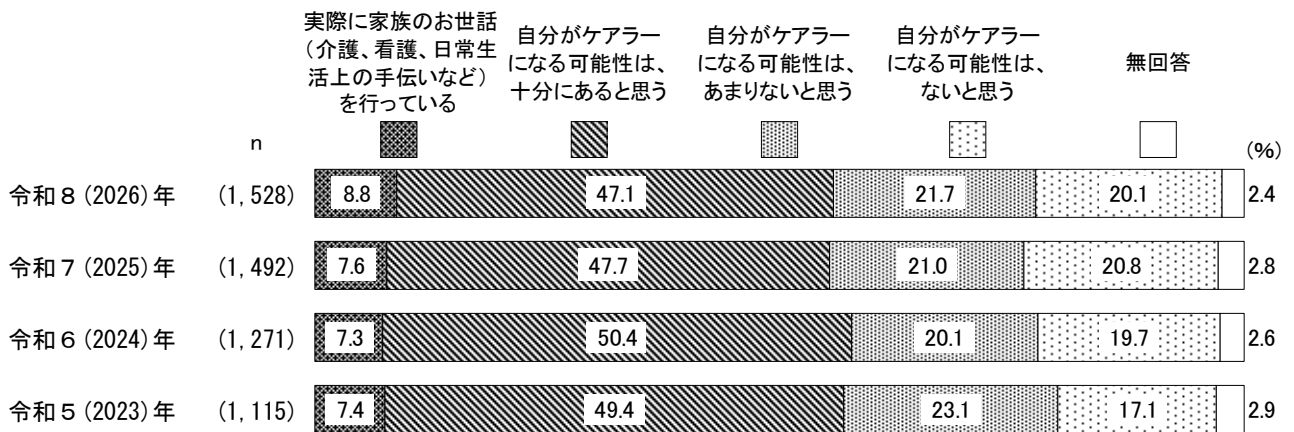


(2) ケアラー当事者になる可能性

問24 今後、あなたがケアラー当事者（家族等のお世話や介護・看護を担う方）となる可能性について、どのようにお考えですか。あなたの考えに最も近いものを、次の中から1つ選んでください。

[n=1,528]

	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和7年 との差
1 実際に家族のお世話 (介護、看護、日常生活上の手伝いなど)を行っている	7.6%	8.8%	1.2 ↑
2 自分がケアラーになる可能性は、十分にあると思う	47.7%	47.1%	0.6 ↓
3 自分がケアラーになる可能性は、あまりないと思う	21.0%	21.7%	0.7 ↑
4 自分がケアラーになる可能性は、ないと思う	20.8%	20.1%	0.7 ↓



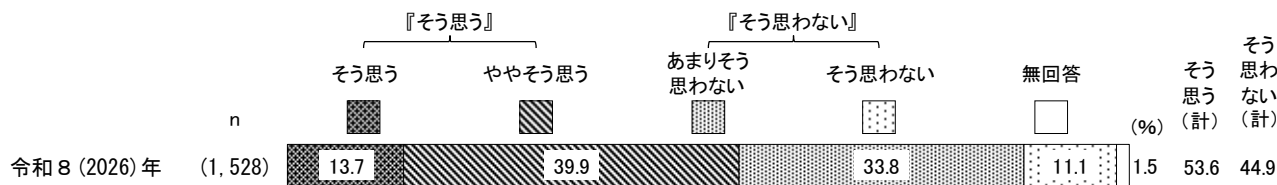
12 在宅医療について

(1) 地域における希望する医療環境の整備の実感

問25 あなたの地域では、あなたや家族が自分の希望する場所で医療や介護サービスを受けることができる環境がある（整っている）（※）と思いますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,528]

※ 「希望する場所で医療や介護サービスを受けることができる環境がある（整っている）」とは、病院を希望するなら入院ができる、介護施設を希望するなら入所できる、自宅や老人ホームを希望するなら在宅療養のための支援を受けることができる等をいいます。

	令和8年（2026年）	
1 そう思う	13.7%	53.6%
2 ややそう思う	39.9%	
3 あまりそう思わない	33.8%	44.9%
4 そう思わない	11.1%	



(2) 人生会議（ACP）の認知度

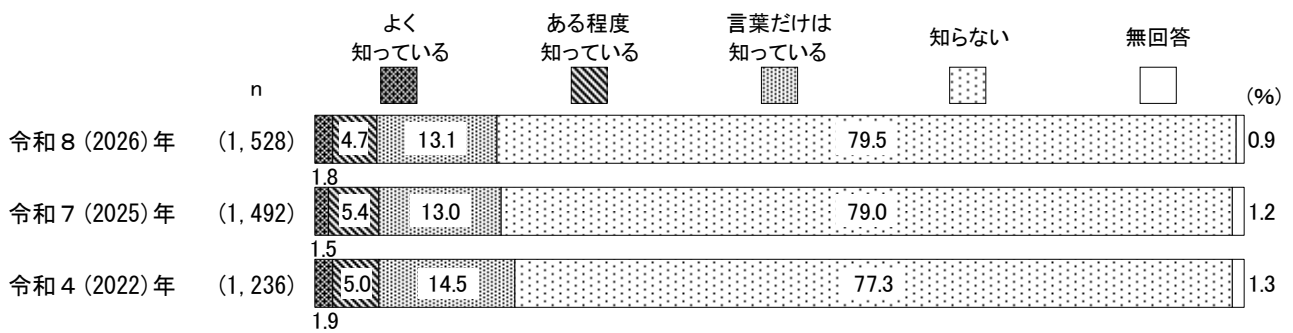
問26 あなたは、「人生会議（ACP）」（※）を知っていますか。

次の中から1つ選んでください。

[n=1,528]

※ 「人生会議（ACP）」とは、アドバンス・ケア・プランニングの愛称で、当事者が望む人生の最終段階の医療やケアについて、前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のことをいいます。

	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和7年 との差
1 よく知っている	1.5%	1.8%	0.3 ↑
2 ある程度知っている	5.4%	4.7%	0.7 ↓
3 言葉だけは知っている	13.0%	13.1%	0.1 ↑
4 知らない	79.0%	79.5%	0.5 ↑



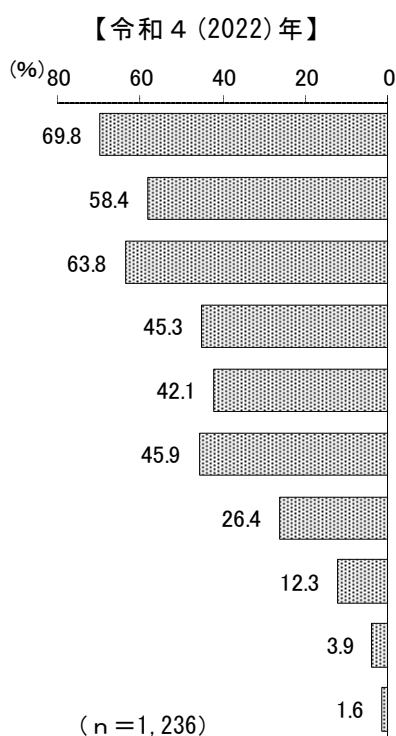
13 がん対策について

(1) がんについての認知度

問27 がんについてあなたが知っていることを、次の中からいくつでも選んでください。

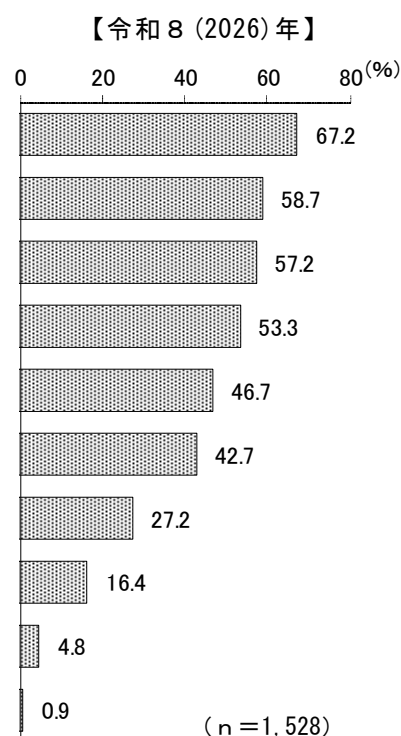
[n=1,528]

	令和4年 (2022年)	令和8年 (2026年)	令和4年 との差
1 日本では、約2人に1人が、がんにかかる	45.3%	53.3%	8.0 ↑
2 日本では、死因の約3分の1が、がんである	42.1%	46.7%	4.6 ↑
3 小児やAYA世代(15~39歳)といわれる年代でも、 がんにかかることがある	45.9%	42.7%	3.2 ↓
4 がんの治療法には、大きく分けて、手術療法、薬物療法、 放射線療法がある	69.8%	67.2%	2.6 ↓
5 がんは、早期発見・早期治療をすれば90%以上が治る	63.8%	57.2%	6.6 ↓
6 がん全体の5年生存率は50%を超えている	26.4%	27.2%	0.8 ↑
7 喫煙は、がんを引き起こす原因の中で、 予防可能な最大のものである	58.4%	58.7%	0.3 ↑
8 がんについて相談ができる「がん相談支援センター」を 設置している医療機関がある	12.3%	16.4%	4.1 ↑
9 いずれも知らない	3.9%	4.8%	0.9 ↑



がんの治療法には、大きく分けて、
手術療法、薬物療法、放射線療法がある
喫煙は、がんを引き起こす原因の中で、
予防可能な最大のものである
がんは、早期発見・早期治療をすれば
90%以上が治る
日本では、約2人に1人が、がんにかかる
日本では、死因の約3分の1が、がんである
小児やAYA世代(15~39歳)といわれる
年代でも、がんにかかることがある
がん全体の5年生存率は50%を超えている
がんについて相談ができる「がん相談支援
センター」を設置している医療機関がある
いずれも知らない

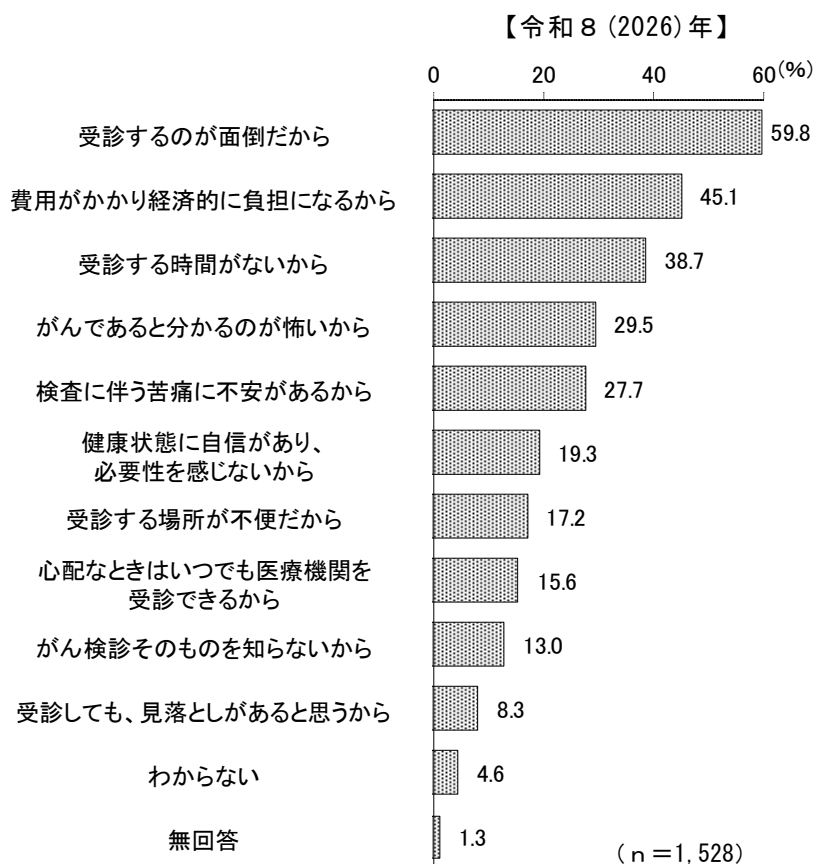
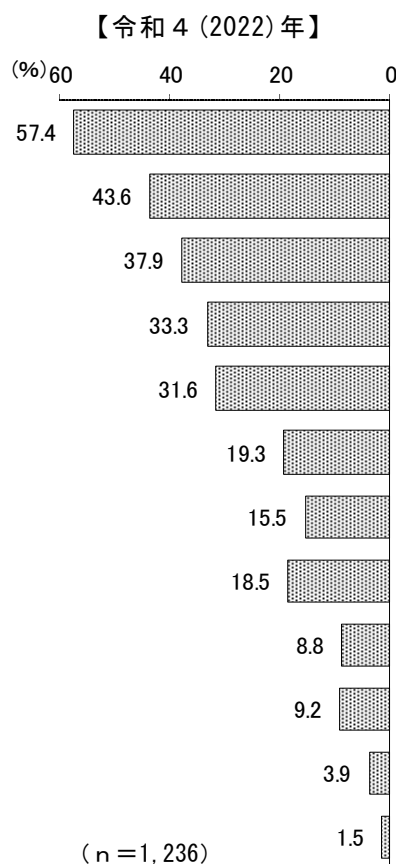
無回答



(2) がん検診を受診しない理由

問28 がん検診の受診率は40～50%程度となっていますが、県が掲げる受診率目標の60%と比較すると依然として低い状況です。あなたは、多くの方ががん検診を受けないのはなぜだと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。
[n=1,528]

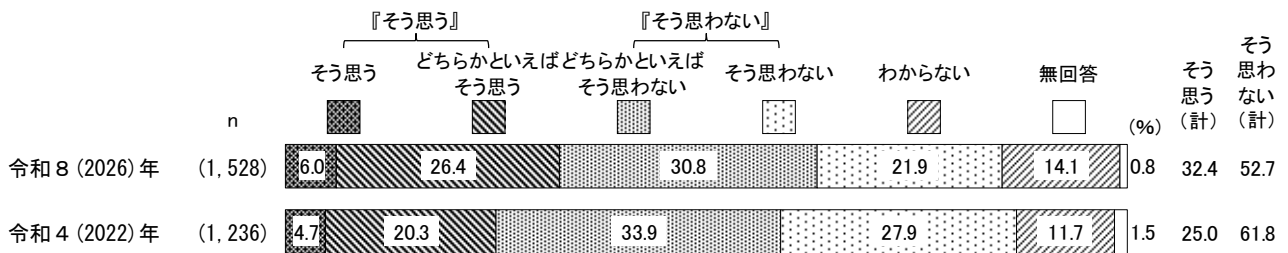
	令和4年 (2022年)	令和8年 (2026年)	令和4年 との差
1 がん検診そのものを知らないから	8.8%	13.0%	4.2 ↑
2 受診するのが面倒だから	57.4%	59.8%	2.4 ↑
3 受診する時間がないから	37.9%	38.7%	0.8 ↑
4 受診する場所が不便だから	15.5%	17.2%	1.7 ↑
5 費用がかかり経済的に負担になるから	43.6%	45.1%	1.5 ↑
6 健康状態に自信があり、必要性を感じないから	19.3%	19.3%	0.0 →
7 検査に伴う苦痛に不安があるから	31.6%	27.7%	3.9 ↓
8 心配なときはいつでも医療機関を受診できるから	18.5%	15.6%	2.9 ↓
9 がんであると分かるのが怖いから	33.3%	29.5%	3.8 ↓
10 受診しても、見落としがあると思うから	9.2%	8.3%	0.9 ↓
11 わからない	3.9%	4.6%	0.7 ↑



(3) がん治療と仕事の両立

問29 現在の日本の社会では、がんの治療や検査のために通院しながら働き続けられる環境だと思いますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,528]

	令和4年(2022年)	令和8年(2026年)	令和4年との差
1 そう思う	4.7%	6.0%	1.3 ↑
2 どちらかといえばそう思う	20.3%	26.4%	6.1 ↑
3 どちらかといえばそう思わない	33.9%	30.8%	3.1 ↓
4 そう思わない	27.9%	21.9%	6.0 ↓
5 わからない	11.7%	14.1%	2.4 ↑

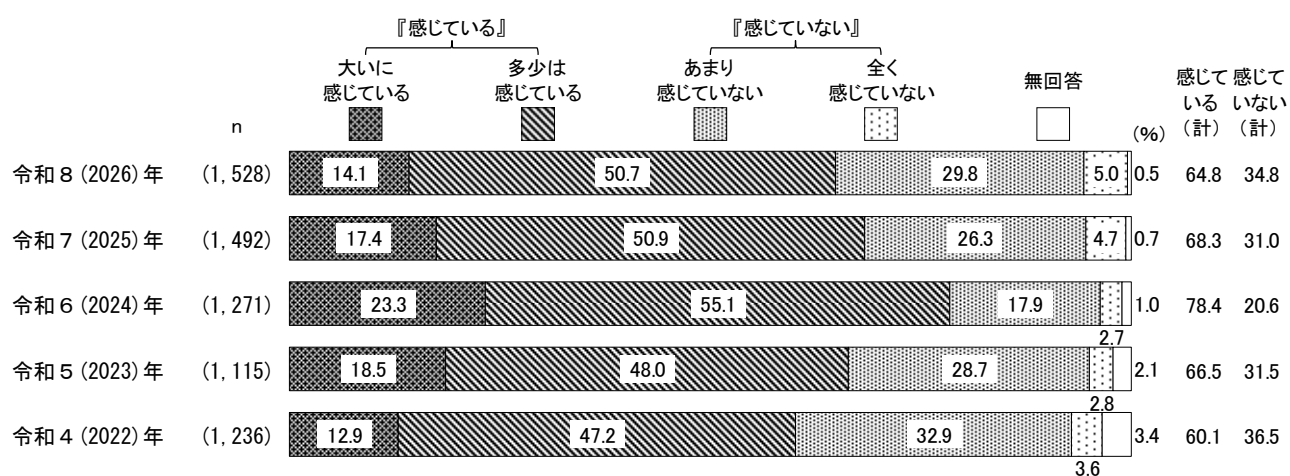


14 食の安全・安心について

(1) 食品の安全性に対する不安感

問30 あなたは、食品の安全性について、不安を感じていますか。次の中から1つ選んでください。
[n=1,528]

	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和7年 との差
1 大いに感じている	17.4%	14.1%	3.3 ↓
2 多少は感じている	50.9%	50.7%	0.2 ↓
3 あまり感じていない	26.3%	29.8%	3.5 ↑
4 全く感じていない	4.7%	5.0%	0.3 ↑

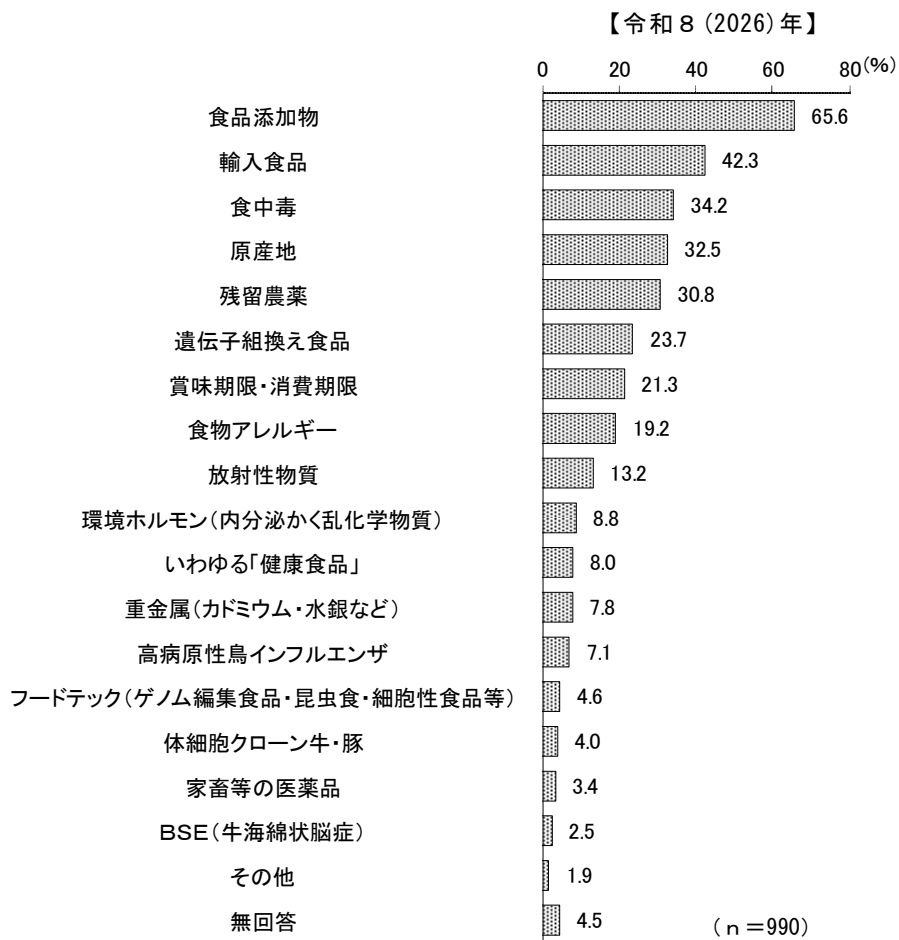
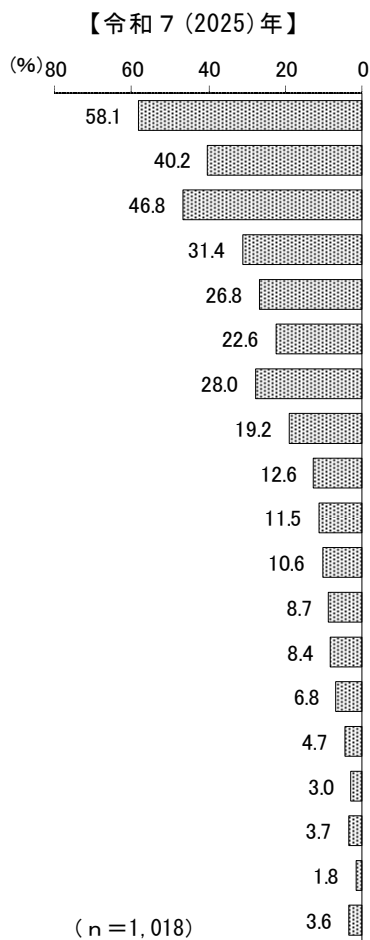


(2) 食品の安全性について不安に思うもの

(問30で選択肢「1」、「2」を選んだ方のみお答えください)

問31 あなたは、食品の安全性のどのような部分について不安を感じていますか。次の中から4つまで選んでください。 [n = 990]

	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和7年 との差
1 食中毒	46.8%	34.2%	12.6 ↓
2 食品添加物	58.1%	65.6%	7.5 ↑
3 いわゆる「健康食品」	10.6%	8.0%	2.6 ↓
4 放射性物質	12.6%	13.2%	0.6 ↑
5 重金属（カドミウム・水銀など）	8.7%	7.8%	0.9 ↓
6 残留農薬	26.8%	30.8%	4.0 ↑
7 食物アレルギー	19.2%	19.2%	0.0 →
8 賞味期限・消費期限	28.0%	21.3%	6.7 ↓
9 原産地	31.4%	32.5%	1.1 ↑
10 遺伝子組換え食品	22.6%	23.7%	1.1 ↑
11 輸入食品	40.2%	42.3%	2.1 ↑
12 BSE（牛海綿状脳症）	3.7%	2.5%	1.2 ↓
13 高病原性鳥インフルエンザ	8.4%	7.1%	1.3 ↓
14 体細胞クローン牛・豚	4.7%	4.0%	0.7 ↓
15 家畜等の医薬品	3.0%	3.4%	0.4 ↑
16 環境ホルモン（内分泌かく乱化学物質）	11.5%	8.8%	2.7 ↓
17 フードテック（ゲノム編集食品・昆虫食・細胞性食品等）	6.8%	4.6%	2.2 ↓
18 その他	1.8%	1.9%	0.1 ↑

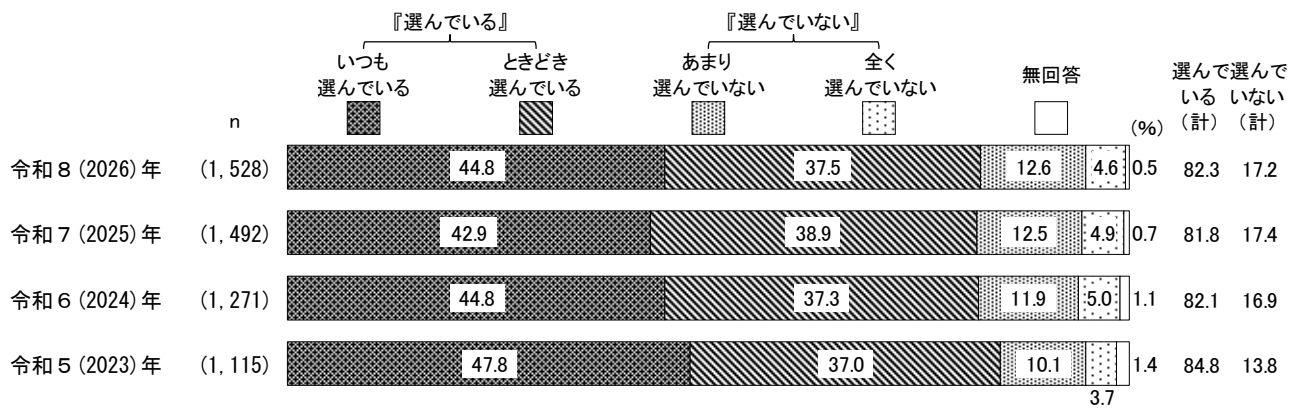


15 食に関する意識と実践について

(1) 産地や生産者を意識した食品等を選ぶか

問32 あなたは、お米や野菜、果物などの生鮮食品を購入する際、国産や県産など産地を意識して選んでいますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,528]

	令和7年(2025年)		令和8年(2026年)		令和7年との差	
1 いつも選んでいる	42.9%	81.8%	44.8%	82.3%	1.9 ↑	0.5 ↑
2 ときどき選んでいる	38.9%		37.5%		1.4 ↓	
3 あまり選んでいない	12.5%	17.4%	12.6%	17.2%	0.1 ↑	0.2 ↓
4 全く選んでいない	4.9%		4.6%		0.3 ↓	

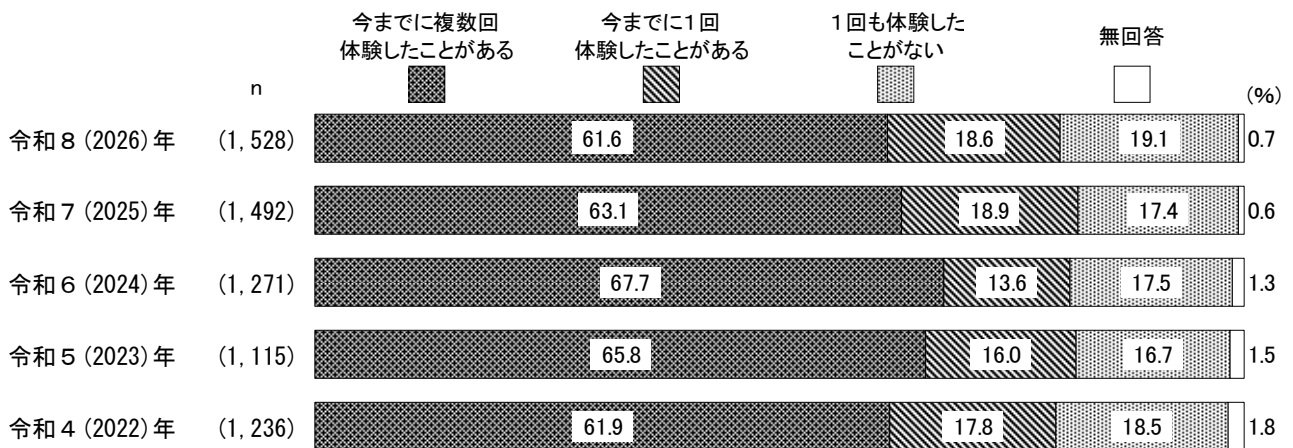


(2) 農業体験をした経験

問33 あなたは、田植えやいちご狩り、乳搾りなど、農業体験をしたことがありますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,528]

	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和7年 との差
1 今までに複数回体験したことがある	63.1%	61.6%	1.5 ↓
2 今までに1回体験したことがある	18.9%	18.6%	0.3 ↓
3 1回も体験したことがない	17.4%	19.1%	1.7 ↑

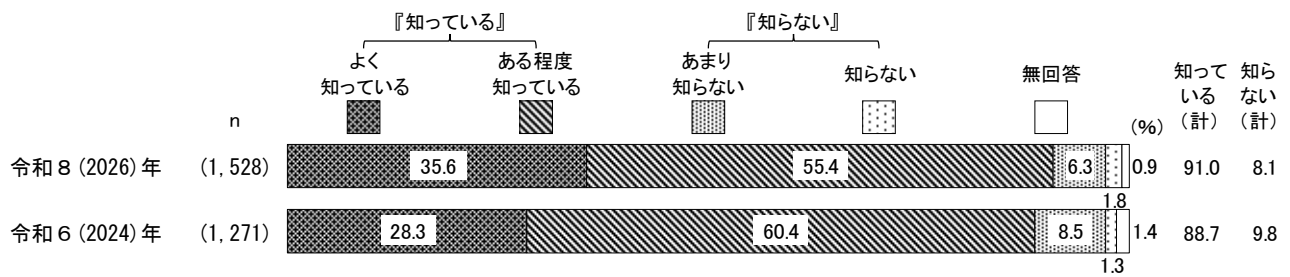


16 食品ロスの削減について

(1) 食品ロス問題の認知度

問34 あなたは、「食品ロス」の問題を知っていますか。次の中から1つ選んでください。
[n =1, 528]

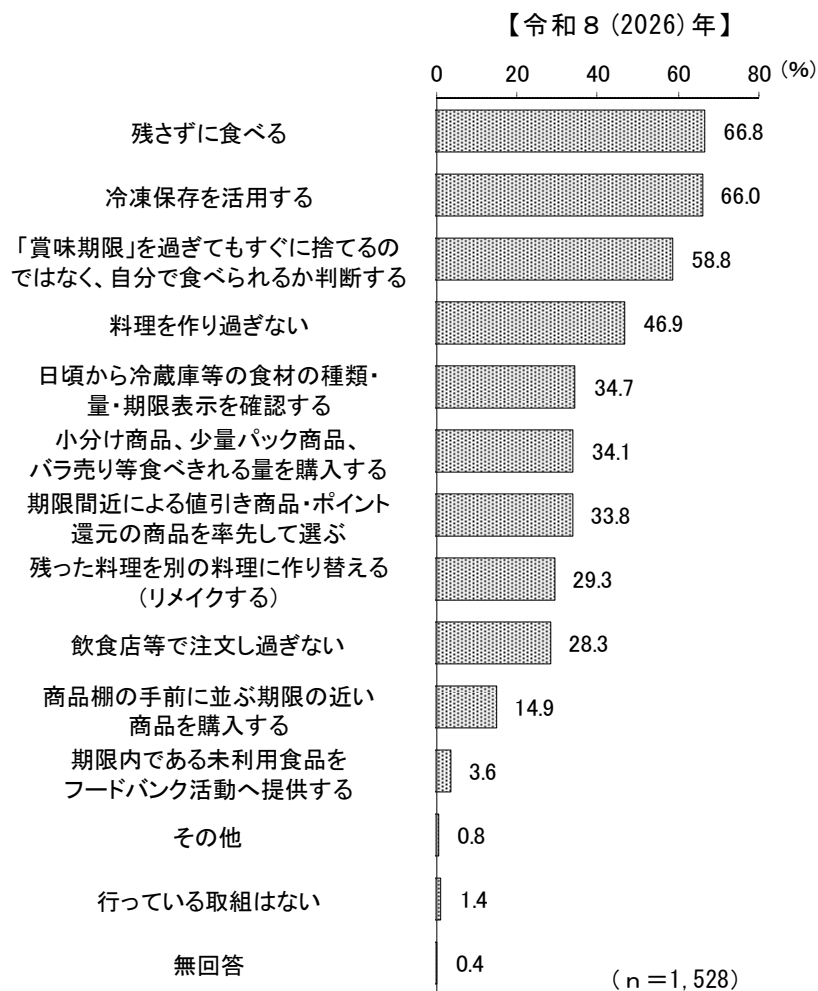
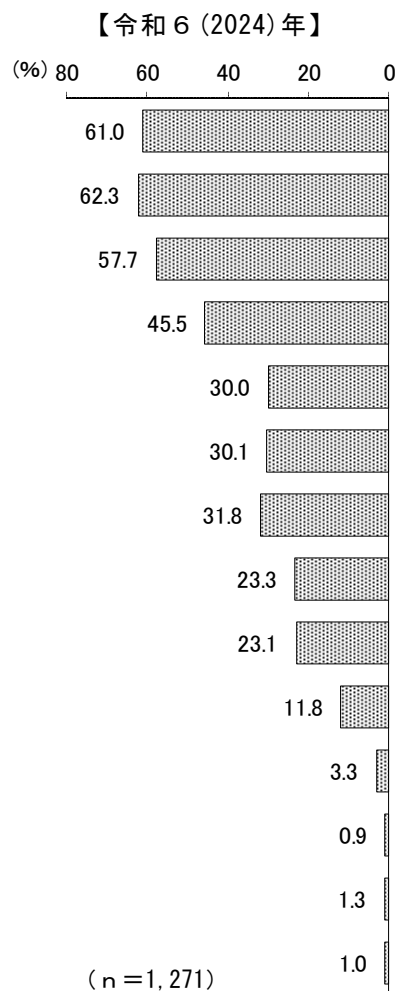
	令和6年(2024年)		令和8年(2026年)		令和6年との差	
1 よく知っている	28.3%	88.7%	35.6%	91.0%	7.3 ↑	2.3 ↑
2 ある程度知っている	60.4%		55.4%		5.0 ↓	
3 あまり知らない	8.5%	9.8%	6.3%	8.1%	2.2 ↓	1.7 ↓
4 知らない	1.3%		1.8%		0.5 ↑	



(2) 現在行っている食品ロスを発生させない取組

問35 あなたが現在行っている、食品ロスを発生させない（食品を無駄にしない）ための取組はどのようなものですか。次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,528]

	令和6年 (2024年)	令和8年 (2026年)	令和6年 との差
1 料理を作り過ぎない	45.5%	46.9%	1.4 ↑
2 残さずに食べる	61.0%	66.8%	5.8 ↑
3 残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）	23.3%	29.3%	6.0 ↑
4 冷凍保存を活用する	62.3%	66.0%	3.7 ↑
5 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する	30.0%	34.7%	4.7 ↑
6 「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、 自分で食べられるか判断する	57.7%	58.8%	1.1 ↑
7 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれる量を 購入する	30.1%	34.1%	4.0 ↑
8 商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する	11.8%	14.9%	3.1 ↑
9 期限間近による値引き商品・ポイント還元の商品を 率先して選ぶ	31.8%	33.8%	2.0 ↑
10 飲食店等で注文し過ぎない	23.1%	28.3%	5.2 ↑
11 期限内である未利用食品をフードバンク活動へ提供する	3.3%	3.6%	0.3 ↑
12 その他	0.9%	0.8%	0.1 ↓
13 行っている取組はない	1.3%	1.4%	0.1 ↑

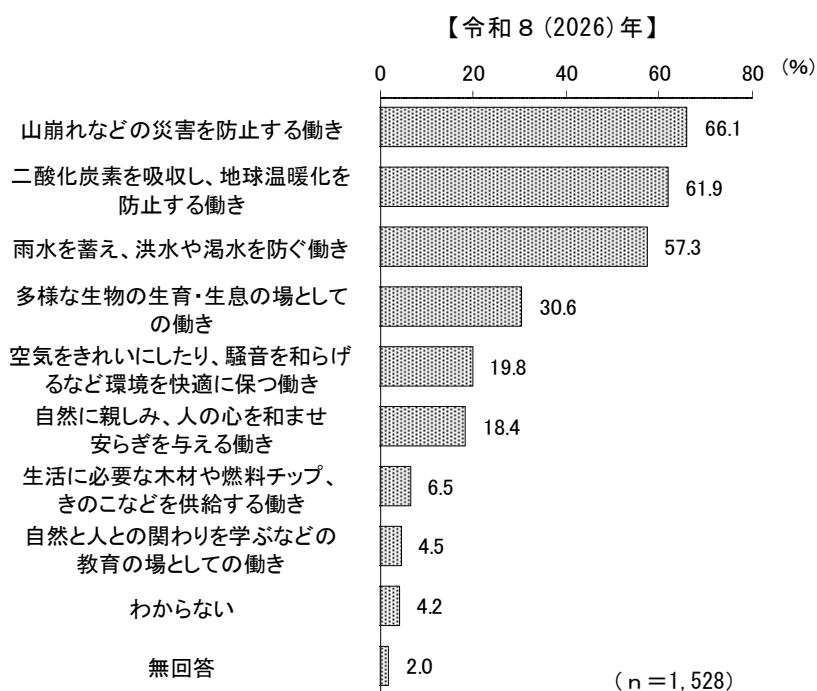
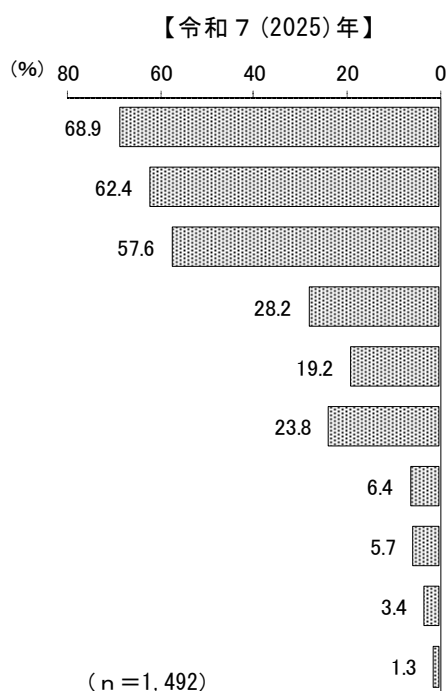


17 とちぎの元気な森づくり県民税について

(1) 重要だと思う森林の持つ働き

問36 森林には、様々な働きがあります。あなたが特に重要だと考える森林の働きはどれですか。
次の中から3つまで選んでください。 [n = 1, 528]

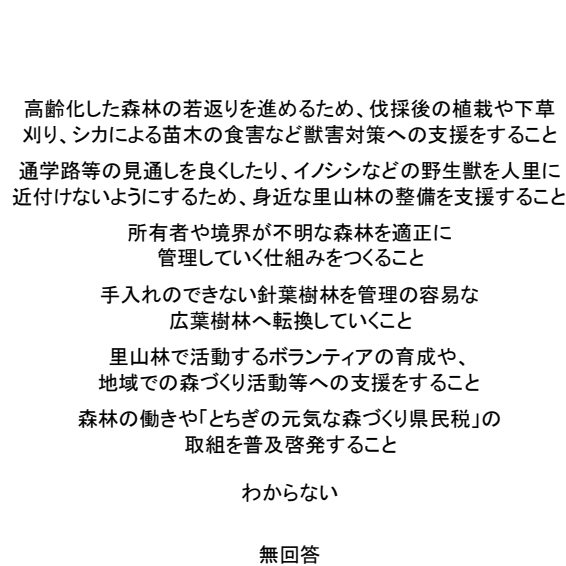
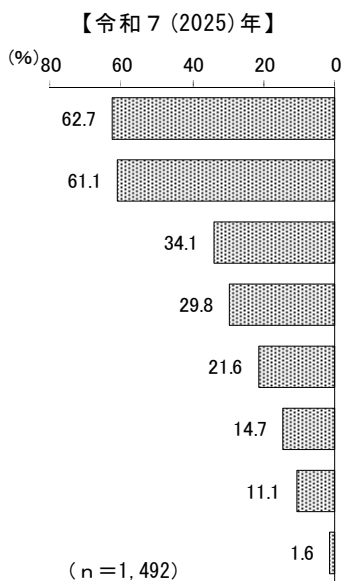
	令和 7 年 (2025年)	令和 8 年 (2026年)	令和 7 年 との差
1 山崩れなどの災害を防止する働き	68.9%	66.1%	2.8 ↓
2 雨水を蓄え、洪水や渇水を防ぐ働き	57.6%	57.3%	0.3 ↓
3 二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防止する働き	62.4%	61.9%	0.5 ↓
4 空気をきれいにしたり、騒音を和らげるなど環境を快適に保つ働き	19.2%	19.8%	0.6 ↑
5 生活に必要な木材や燃料チップ、きのこなどを供給する働き	6.4%	6.5%	0.1 ↑
6 多様な生物の生育・生息の場としての働き	28.2%	30.6%	2.4 ↑
7 自然に親しみ、人の心を和ませ安らぎを与える働き	23.8%	18.4%	5.4 ↓
8 自然と人との関わりを学ぶなどの教育の場としての働き	5.7%	4.5%	1.2 ↓
9 わからない	3.4%	4.2%	0.8 ↑



(2)「とちぎの元気な森づくり県民税」で重要と思う取組

問37 栃木県では、「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用して、本県の森林を元気な姿で将来へ引き継いでいくための様々な取組を行っています。「とちぎの元気な森づくり県民税」の取組の中で、あなたが特に重要と思うものはどれですか。次の中から3つまで選んでください。 [n=1,528]

	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和7年 との差
1 高齢化した森林の若返りを進めるため、伐採後の植栽や下草刈り、シカによる苗木の食害など獣害対策への支援をすること	62.7%	61.2%	1.5 ↓
2 手入れのできない針葉樹林を管理の容易な広葉樹林へ転換していくこと	29.8%	32.3%	2.5 ↑
3 通学路等の見通しを良くしたり、イノシシなどの野生獣を人里に近付けないようにするため、身近な里山林の整備を支援すること	61.1%	61.1%	0.0 →
4 里山林で活動するボランティアの育成や、地域での森づくり活動等への支援をすること	21.6%	22.3%	0.7 ↑
5 所有者や境界が不明な森林を適正に管理していく仕組みをつくること	34.1%	34.9%	0.8 ↑
6 森林の働きや「とちぎの元気な森づくり県民税」の取組を普及啓発すること	14.7%	15.4%	0.7 ↑
7 わからない	11.1%	10.7%	0.4 ↓



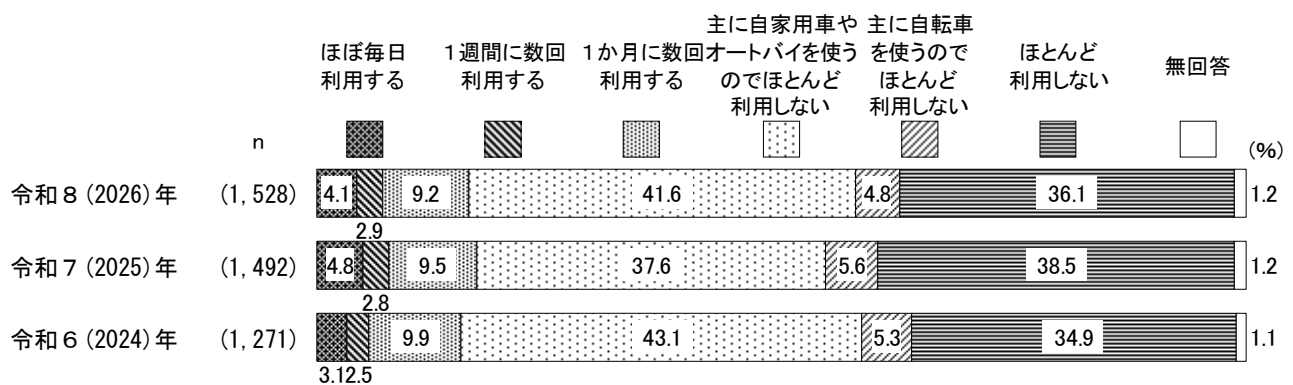
18 公共交通について

(1) 公共交通の利用状況

問38 あなたは、日常生活の中で鉄道・バス・タクシーなどの公共交通機関をどれくらい利用していますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,528]

※ 公共交通機関とは、民間の交通事業者が運行するものだけではなく、市町が運行するコミュニティバスやデマンド交通なども含みます

	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和7年 との差
1 ほぼ毎日利用する	4.8%	4.1%	0.7 ↓
2 1週間に数回利用する	2.8%	2.9%	0.1 ↑
3 1か月に数回利用する	9.5%	9.2%	0.3 ↓
4 主に自家用車やオートバイを使うのでほとんど利用しない	37.6%	41.6%	4.0 ↑
5 主に自転車を使うのでほとんど利用しない	5.6%	4.8%	0.8 ↓
6 ほとんど利用しない	38.5%	36.1%	2.4 ↓

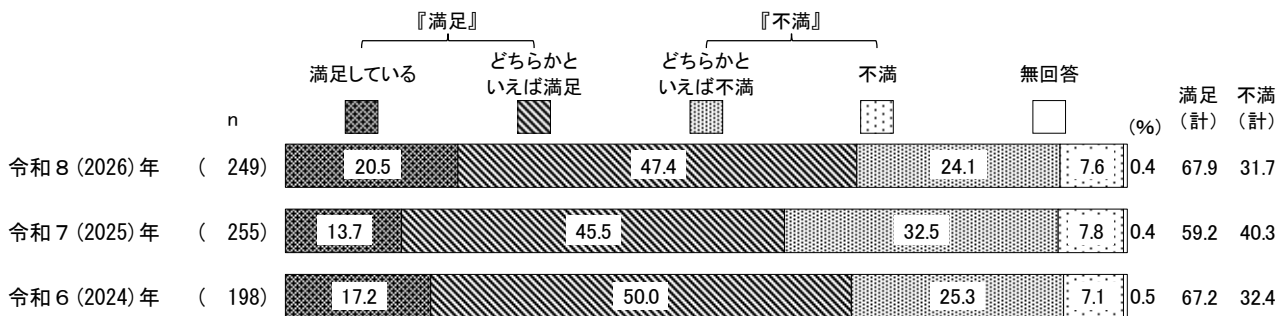


(2) 公共交通に関する満足度

(問38で選択肢「1」、「2」、「3」を選んだ方のみお答えください)

問39 あなたは、公共交通機関のサービスや運行状況について、満足していますか。次の中から1つ選んでください。 [n = 249]

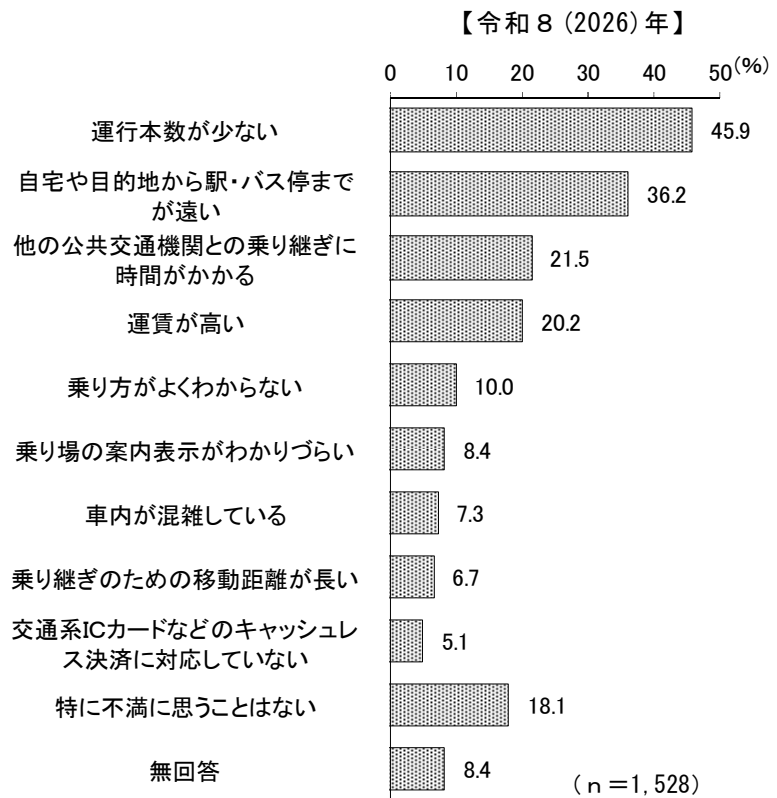
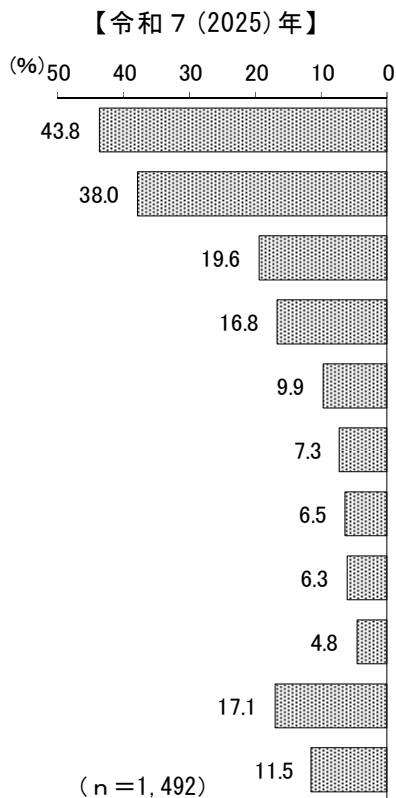
	令和 7 年 (2025年)		令和 8 年 (2026年)		令和 7 年との差	
1 満足している	13.7%	59.2%	20.5%	67.9%	6.8 ↑	8.7 ↑
2 どちらかといえば満足	45.5%		47.4%		1.9 ↑	
3 どちらかといえば不満	32.5%	40.3%	24.1%	31.7%	8.4 ↓	8.6 ↓
4 不満	7.8%		7.6%		0.2 ↓	



(3) 公共交通に不満を感じること

問40 あなたが公共交通機関に不満を感じることは何ですか。次の中から3つまで選んでください。[n = 1,528]

	令和 7 年 (2025年)	令和 8 年 (2026年)	令和 7 年 との差
1 運行本数が少ない	43.8%	45.9%	2.1 ↑
2 自宅や目的地から駅・バス停までが遠い	38.0%	36.2%	1.8 ↓
3 他の公共交通機関との乗り継ぎに時間がかかる	19.6%	21.5%	1.9 ↑
4 運賃が高い	16.8%	20.2%	3.4 ↑
5 車内が混雑している	6.5%	7.3%	0.8 ↑
6 交通系 I C カードなどのキャッシュレス決済に対応していない	4.8%	5.1%	0.3 ↑
7 乗り継ぎのための移動距離が長い	6.3%	6.7%	0.4 ↑
8 乗り方がよくわからない	9.9%	10.0%	0.1 ↑
9 乗り場の案内表示がわかりづらい	7.3%	8.4%	1.1 ↑
10 特に不満に思うことはない	17.1%	18.1%	1.0 ↑

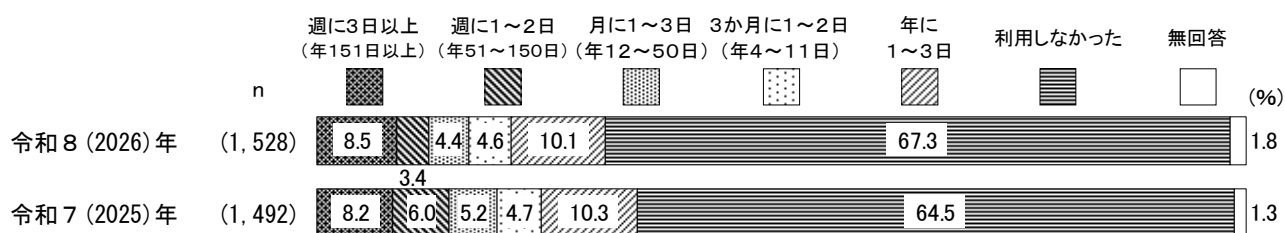


19 自転車利用率と目的について

(1) 自転車の利用状況

問41 あなたは、この1年間にどの程度自転車を利用しましたか。次の中から1つ選んでください。
[n=1,528]

	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和7年 との差
1 週に3日以上 (年151日以上)	8.2%	8.5%	0.3 ↑
2 週に1～2日 (年51～150日)	6.0%	3.4%	2.6 ↓
3 月に1～3日 (年12～50日)	5.2%	4.4%	0.8 ↓
4 3か月に1～2日 (年4～11日)	4.7%	4.6%	0.1 ↓
5 年に1～3日	10.3%	10.1%	0.2 ↓
6 利用しなかった	64.5%	67.3%	2.8 ↑



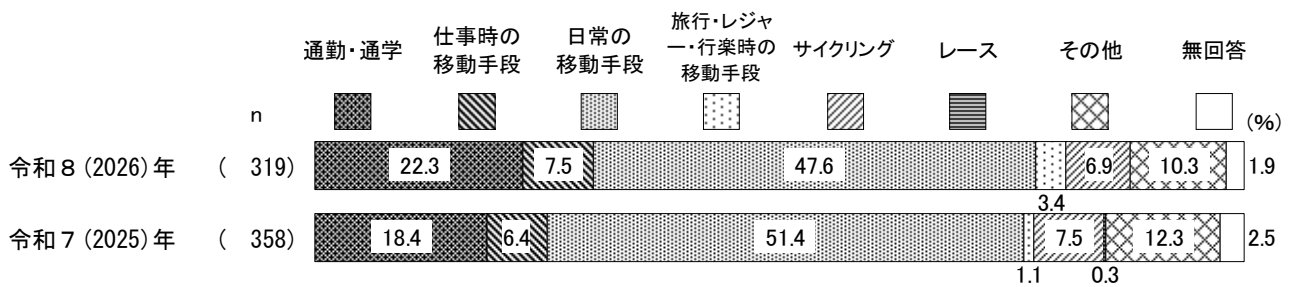
(2) 自転車利用の目的

(問41で選択肢「1」～「4」を選んだ方のみお答えください)

問42 あなたが自転車を利用した主な目的は何ですか。次の中から1つ選んでください。

[n = 319]

	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和7年 との差
1 通勤・通学	18.4%	22.3%	3.9 ↑
2 仕事時の移動手段	6.4%	7.5%	1.1 ↑
3 日常の移動手段	51.4%	47.6%	3.8 ↓
4 旅行・レジャー・行楽時の移動手段	1.1%	3.4%	2.3 ↑
5 サイクリング	7.5%	6.9%	0.6 ↓
6 レース	0.3%	0.0%	0.3 ↓
7 その他	12.3%	10.3%	2.0 ↓



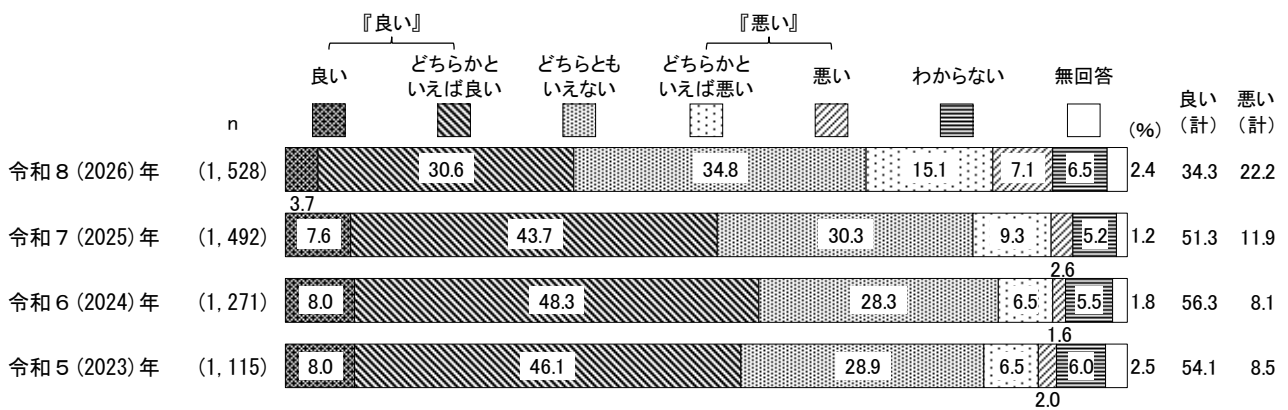
20 犯罪と治安対策について

(1) 県内の治安状況の変化

問43 あなたは、県内の治安についてどう感じますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,528]

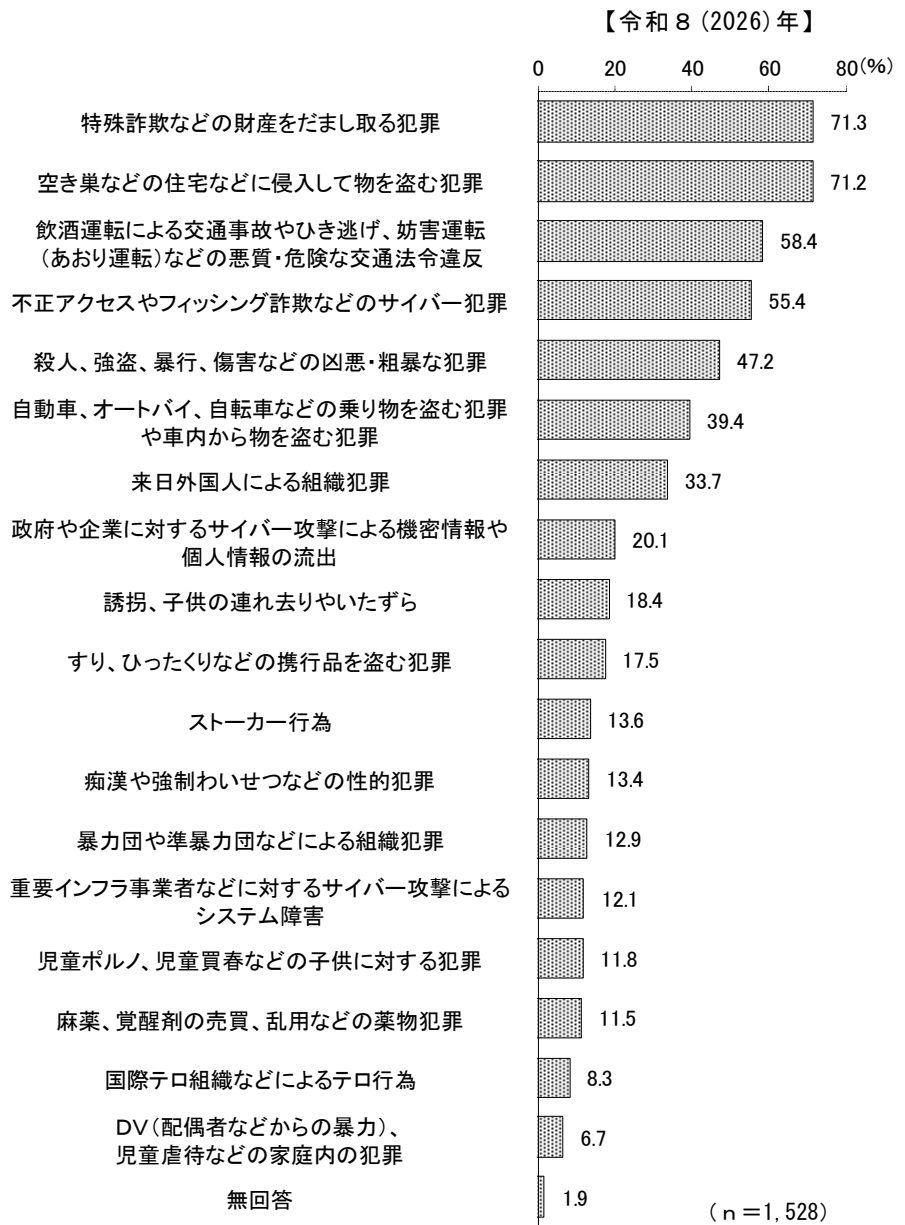
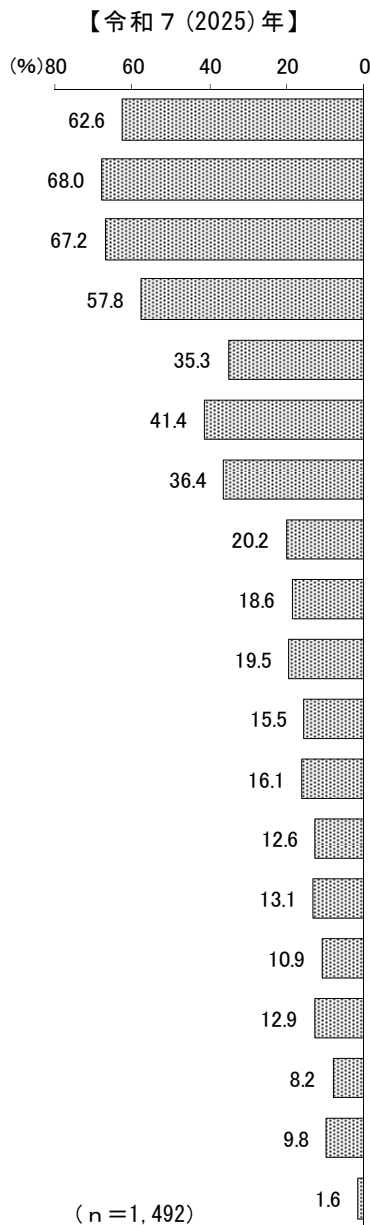
		令和 7 年(2025年)		令和 8 年 (2026年)		令和 7 年との差	
1	良い	7.6%	51.3%	3.7%	34.3%	3.9 ↓	17.0 ↓
2	どちらかといえば良い	43.7%		30.6%		13.1 ↓	
3	どちらともいえない	30.3%		34.8%		4.5 ↑	
4	どちらかといえば悪い	9.3%	11.9%	15.1%	22.2%	5.8 ↑	10.3 ↑
5	悪い	2.6%		7.1%		4.5 ↑	
6	わからない	5.2%		6.5%		1.3 ↑	



(2) 不安に感じる犯罪

問44 社会が変化する中、あなたが、自分や身近な人が被害に遭うかもしれないと不安になる犯罪などは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,528]

	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和7年 との差
1 特殊詐欺などの財産をだまし取る犯罪	62.6%	71.3%	8.7 ↑
2 不正アクセスやフィッシング詐欺などのサイバー犯罪	57.8%	55.4%	2.4 ↓
3 飲酒運転による交通事故やひき逃げ、 妨害運転（あおり運転）などの悪質・危険な交通法令違反	67.2%	58.4%	8.8 ↓
4 殺人、強盗、暴行、傷害などの凶悪・粗暴な犯罪	35.3%	47.2%	11.9 ↑
5 空き巣などの住宅などに侵入して物を盗む犯罪	68.0%	71.2%	3.2 ↑
6 自動車、オートバイ、自転車などの乗り物を盗む犯罪や 車内から物を盗む犯罪	41.4%	39.4%	2.0 ↓
7 政府や企業に対するサイバー攻撃による機密情報や 個人情報の流出	20.2%	20.1%	0.1 ↓
8 DV（配偶者などからの暴力）、児童虐待などの家庭内の犯罪	9.8%	6.7%	3.1 ↓
9 誘拐、子供の連れ去りやいたずら	18.6%	18.4%	0.2 ↓
10 麻薬、覚醒剤の売買、乱用などの薬物犯罪	12.9%	11.5%	1.4 ↓
11 来日外国人による組織犯罪	36.4%	33.7%	2.7 ↓
12 すり、ひったくりなどの携行品を盗む犯罪	19.5%	17.5%	2.0 ↓
13 児童ポルノ、児童買春などの子供に対する犯罪	10.9%	11.8%	0.9 ↑
14 痴漢や強制わいせつなどの性的犯罪	16.1%	13.4%	2.7 ↓
15 重要インフラ事業者などに対するサイバー攻撃による システム障害	13.1%	12.1%	1.0 ↓
16 ストーカー行為	15.5%	13.6%	1.9 ↓
17 国際テロ組織などによるテロ行為	8.2%	8.3%	0.1 ↑
18 暴力団や準暴力団などによる組織犯罪	12.6%	12.9%	0.3 ↑



(3) 交通事故を抑止するための対策

問45 交通事故を抑止する上で、あなたはどのような対策が効果的だと思いますか。次の中からいくつかを選んでください。 [n=1,528]

	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和7年 との差
1 飲酒運転や無免許運転、妨害運転などの 悪質・危険な違反の取締り	84.3%	80.8%	3.5 ↓
2 年齢や対象に応じた交通安全教育	39.5%	47.7%	8.2 ↑
3 自転車利用者に対する交通安全指導と 悪質・危険な違反の取締り	51.6%	49.0%	2.6 ↓
4 運転免許証の自主返納の呼びかけと返納者に対する 支援事業の強化	52.2%	55.0%	2.8 ↑
5 自動ブレーキ等が搭載された「安全運転サポート車」の 普及促進	40.0%	38.5%	1.5 ↓
6 地域の交通情勢に応じた交通規制の見直し	22.7%	21.3%	1.4 ↓
7 地域の実情に応じた広報活動と交通安全情報の提供	10.3%	10.0%	0.3 ↓
8 生活道路における速度抑制対策	22.7%	21.5%	1.2 ↓
9 交通事故の発生実態に応じた取締り	21.4%	21.2%	0.2 ↓
10 家庭や学校、職場で取り組む交通事故防止活動	21.3%	21.9%	0.6 ↑
11 わからない	1.5%	2.0%	0.5 ↑

